第５次岩倉市総合計画策定 に関する

市民まちづくり会議結果報告書

■ねらい

現在、岩倉市で進めている新しい第５次総合計画の策定に向けて、市民の皆さんと一緒に、「これから 10 年間の岩倉のまちづくり」について、子育てや教育、福祉、防災、にぎわいなど様々なテーマについて生活者の視点で自由に話し合い、今後求められる具体的なまちづくりの取組（まちづくり戦略＝総合戦略）、公民連携による協働などについて考える。

全６回の会議で話し合った内容を踏まえ、計画づくりを進める。

■スケジュール

回	日程	内容
①	８月 31 日（土） （34 人参加）	**・ミニレクチャー「総合計画とこれからのまちづくり」** **・岩倉市民のまちへの想いやニーズを共有** **・グループワーク「５～10 年のまちや暮らしの変化」**
②	９月 21 日（土） （32 人参加）	**・「岩倉市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の紹介** **・全体ワーク「評価（採点）の指標」の検討** **・ワールドカフェ「総合戦略を評価（採点）する」**
③	10 月 19 日（土） （34 人参加）	**・ミニレクチャー「公民連携について」** **・ミニワーク** **「持続可能な未来に向けた公民連携プロジェクト」の検討**
④	11 月２日（土） （36 人参加）	**・グループワーク「『岩倉市まち・ひと・しごと創生総合戦略』のリノベーション」** **基本目標②新しい人の流れをつくる** **基本目標③若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる**
⑤	11 月 30 日（土） （33 人参加）	**・グループワーク「『岩倉市まち・ひと・しごと創生総合戦略』のリノベーション」** **基本目標①しごとをつくり、安心して働けるようにする** **基本目標④時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守る**
⑥	12 月 14 日（土） （37 人参加）	**・グループワーク** **岩倉の持続可能な未来にむけた『公民連携プロジェクト提案』** **・まちづくり宣言**

※時間は全６回とも午前９時から１２時

■参加者名簿　※五十音順、敬称略

【市民 27 名】

浅田　敏、浅田　升夫、一木　茂、小川　達哉、加藤　昂一、
川口　一彦、北方　麻美、北方　伸一、北野　仙之、栗下　拓也、
後藤　りか、櫻井　芳樹、杉浦　まゆみ、杉山　宜央、田代　貢一、
堂元　誠、中村　朋美、野中　幸生、細尾　和也、本田　収良、
水谷　寧志、水野　静歌、六鹿　克也、村平　進、安江　弘雄、
山口　博昭、吉田　朋恵

【若手職員 PT 10 名】

氏家　弘尭、桑原　拓也、坂﨑 香織、佐久田　智規、鈴木　奈々美、
鈴木　文菜、瀧本　亮、多田　吉宏、堀　宏志、渡部　正樹

第５次岩倉市総合計画策定 に関する第１回市民まちづくり会議

日時　令和元年８月31日（土）午前９～12時
会場　岩倉市役所　７階 大会議室

グループワーク「５～10年のまちや暮らしの変化」の意見まとめ

６つのグループにわかれて、身近なまちや暮らしの変化を「プラス」と「マイナス」の両面から意見交換しました。出された主な意見をテーマごとに下表にまとめました。（複数のテーマに関係するものは再掲しています。）

安心していきいきと暮らせるまち

	【プラス】	【マイナス】
健康	・医療機関の充実	・医療機関が不足 ・予防医療施策が不足 ・保健センターの充実を求める
市民福祉	・高齢者支援施設が増加、高齢者サロン活動も活発 ・子育て支援サービスやイベントが充実 ・保育園・幼稚園内容の充実 ・学童保育や保育園・幼稚園における延長保育の対象年齢拡大 ・小さな子どもが増加	・保育園・幼稚園の人手不足 ・子どもの遊び場減少、公園の利用制限 ・小児科が増えない ・「子育てのまち」と謳っているが周知されていない ・地域に子どもの姿が少ない

自然と調和したうるおいのあるまち

	【プラス】	【マイナス】
水辺環境の整備・活用	・五条川の活用が進んでいる（健康：ウォーキング・にぎわい：まつり） ・五条川の整備が進み快適になった ・クリーンアップ活動への参加者が増えた	・五条川の整備がされすぎて生態系が減少 ・桜並木の寿命が迫っている ・下流域は整備が進んでいない
公園・緑地	・公園整備が進み、きれいに、安全になった	・緑が減った
防災	・学区ごとの防災訓練実施 ・避難時のアナウンス改善	・避難訓練参加者の高齢化・固定化 ・川があふれた ・市民の防災意識が向上しない
防犯	・防犯カメラ・街灯が整備された	・地域防犯活動参加者の高齢化 ・不審者が増加、交番が足りない ・農作物の盗難事故が起きている
交通安全	・通学路の整備が進み安全になった	・交通事故が増えた ・自転車交通が増え、危険な運転が見られる

豊かな心を育み人が輝くまち

	【プラス】	【マイナス】
生涯学習の推進	・市民文化活動が活発 ・活動支援施設が充実、運営向上	・「音楽のあるまちづくり」を謳っているが市民活動への支援がない ・市民プールがなくなった

学校教育	・小中学校に空調が整備された ・給食センターがきれい ・通学時の地域ボランティアの存在	・校舎の老朽化

快適で利便性の高い魅力あるまち

	【プラス】	【マイナス】
交通対策	・路線バスのルートが増えた ・駅西の整備が進んだ	・交通利便性に地域格差がある ・交通渋滞の増加 ・住宅地内の交通量増加
道路	・道路整備（高架、東西交通など）が進み便利になった	・歩道整備が遅れている
市街地整備	・駅西の整備が進んだ（トイレがきれいに）	・駅西の芸術作品がさびれている ・駐車場や倉庫が多い ・石仏駅周辺が未整備
住宅	・新築住宅や集合住宅が増加（人口増加）	・空き地・空き家が増加 ・マンションが立ち並びすぎ ・宅地化により緑が減少
景観形成		・看板やのぼりなどで景観悪化 ・駅前の街並みがバラバラ
下水道		・下水道整備の遅れ

地域資源を生かした活力あふれるまち

	【プラス】	【マイナス】
農業		・遊休農地の拡大、田畑の減少
工業	・工業団地計画の推進	・工場の減少
商業	・コンビニエンスストアの増加 ・ピアゴがアピタになり買い物利便性向上 ・駅前に飲食店増加	・小売店の減少 ・若者受けの良い店舗の不足（カフェなど） ・商店街の衰退、飲食店の不足
観光・交流	・五条川桜の知名度上昇、まつり来訪者増加 ・公式キャラ「い～わくん」	・桜まつりは「桟敷席」があった方がよかった ・五条川桜並木の寿命が迫っている

市民とともに歩む ひらかれたまち

	【プラス】	【マイナス】
市民協働・地域コミュニティ	・市民同士の交流が広がっている ・市民協働イベントの増加	・市民活動に対する補助金制度が減った ・市民参加機会が多い ・高齢化により、地域コミュニティの運営が成り立たない
男女共同参画	・女性の活躍・活動が増加	
多文化共生	・外国人が増加してコミュニケーションが多様化した	・外国人とのトラブル発生時、相談窓口がない ・駐車車両などトラブルが地域で発生
広報		・制度があっても周知されない
情報公開	・市議会がオープンになった	・情報公開度アップしてほしい
行財政運営	・市の若い職員の意識向上・元気さ ・自治体基本条例の施行	・施策における地域の偏りが見られる

第５次岩倉市総合計画策定に関する第２回市民まちづくり会議　結果概要

日時　令和元年９月 21 日（土）午前９～12 時
会場　岩倉市役所　７階 大会議室

◆全体ワーク「①評価（採点）の指標（視点・ものさし・キーワード）」の検討

総合戦略を評価するために必要な情報として、これまでの総合戦略の施策・事業の取組概要や成果の説明を受け、市民・生活者として総合戦略を評価（成績をつける）にあたり、評価する（成果を測る）ための「視点・ものさし・キーワード」を検討（個人ワーク）。出された主な意見を基本目標＋施策ごとに下表にまとめました。

基本目標１「仕事をつくり安心して働けるようにする」

施　策	指標・視点・ものさし・キーワード
１. 中小企業・小規模事業者の振興支援	・岩倉製の物・サービスを買う機会が増えたか ・市内に大企業があるか
２. 創業支援・事業承継の支援	・起業後、５年以上継続できた中小企業の率 ・地元のお店・会社の廃業は減ったか、止まったか
３. 新たな企業の誘致	・ベンチャー企業の数 ・新しいお店や会社は増えたか ・岩倉へ誘致・創業した会社がどれだけ事業を継続できるか ・岩倉市内勤務の人（昼間人口）が増えたか
４. 優秀な労働力の持続的な確保	・生活・仕事しやすいと思うようになった ・何歳までても働ける環境であるか

基本目標２「新しい人の流れを作る」

施　策	指標・視点・ものさし・キーワード
１. 若い世代の移住・定住の促進	・「いわくらしやすい」の中身をどれだけの人が知っているか ・給与所得者の平均年収 ・小売店の数 ・市内のイベントに参加する人が増えたか ・ずっと住み続けたいと思える街になっているか
２. 観光交流の促進による交流人口の拡大	・岩倉のことを知っている人が増えた（認知度が高まったか） ・岩倉市民が岩倉の良さや取り組みに気づけているか ・他市町の知人に自慢できるスポットがあるか・子どもと地域の関わりが深まったか ・桜まつりへの市外からの訪問者数

基本目標３「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」

施　策	指標・視点・ものさし・キーワード
１. 若者・女性の就労支援	―
２. 結婚・出産支援	・出会いの場がたくさんあり、にぎやかか
３．子育て支援	・子どもがのびのび成長する ・働くお母さんが増えた
４. 特色ある教育の推進	・自分が子どものときにはなかった学校等の子ども向けの催し ・特色のある授業（教育）とは何か

基本目標４「時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守る」

施　策	指標・視点・ものさし・キーワード
１.健康寿命の延伸	・６５歳以上の引きこもり率 ・健康寿命の延伸のため多くの施策が実施されてきたが、定量的な評価はできるのか ・スポーツイベントの参加者が増えたか ・病院医院の数
２.防災・防犯対策の充実	・安心して市内を移動できているか ・過去一年間の防災訓練に参加した人の割合 ・自分の地域の避難（一時・広域）場所を知っている人の割合
３.持続可能なまちづくりの推進	・今の暮らしが良くなったか（世帯平均年収） ・地域のつながりが増したか ・人が行き交うイキイキした街になったか ・増え続けるであろう外国人といかに共生する気があるか ・ボランティア（市民活動）に参加したことがあるか

◆全体ワーク「②総合戦略を評価（採点）」

「基本目標１」から「基本目標４」までの中から各自、関心のあるテーブルに分かれ（上限 10 人程度）、施策・事業単位で個別評価してもらいました。評価の方法は、「点数（10 点満点中）」「評価の視点」「評価コメント」の３点をそれぞれ記入し、施策ごとにカードを貼り付けて整理しました。出された主な意見を基本目標＋施策ごとに下表にまとめました。（評価コメントに加えて今後への提案・改善案は◇で記入）

基本目標１「仕事をつくり安心して働けるようにする」
施策１.中小企業・小規模事業者の振興支援：平均点「3.3 点」

具体的な事業	評価の視点（点数）	評価コメント
①中小企業・小規模事業者活性化行動計画の推進	―	―
②地域産業活性化支援事業（ビジネスサポートセンター事業）	・企業メリット・効果（５点）	・ビジネスサポートはコンサルがキーコンサルのランニングコスト等、継続性は大丈夫か
	・農業の高次化（３点）	・農業視点からの産業化
	・商工会内にビジサポ（３点）	・ビジサポのサポート員の能力　商工会にあることで会員以外は行きづらい
	・ビジネスサポートセンターの成果（２点）	・相談数やセミナー数、売り上げが上がったかどうかが分からない
	・ビジネスサポートセンター活用（１点）	・活用されているか
③経営発達支援計画の推進支援	・結果の有無（１点）	・とりあえずやっているだけではないか
④中小企業・小規模事業者従業員研修支援事業	・―（５点）	・岩倉市ならではの事業、今後も続けていくべき
⑤販路開拓・拡大支援事業	・情報提供、展示会（０点）	・ただ集まってるだけで何もしていない

⑥小規模企業等振興資金融資事業	―	―
全　般	・中小企業を支援する視点（８点）	・中小を支援する視点を評価 これからに期待
	・事業者の発展に資するか（５点）	・今ある事業所にさらに発展するための支援ができているか
	・人口減少市場での小規模事業の〇〇（３点）	・実施は評価するが戦略が良くない

施策２．創業支援・事業承継の支援：平均点「４点」

具体的な事業	評価の視点（点数）	評価コメント
①創業支援事業計画の推進	・３市２町の連携セミナー（７点）	◇岩倉だけではなく、近隣と一緒にやることで幅広い知識が得られる（他市の取組）
	・中小企業のメリット（６点）	・融資のみでなく、企業間の連携、市外との連携も
	・新しい産業（仕事）が増えたか（１点）	・数十年後、65%の割合で新しい（今存在しない）仕事で働くことになる
②地域産業活性化支援事業（ビジネスサポートセンター事業）	・ビジネスサポートセンター機能充実（４点）	・ビジネスサポートセンターが岩倉の産業実態を他市町村と比較して対策を講じるなど施策必須
	・ベンチャー企業の誘致数（１点）	・誘致しているか
③事業承継促進事業	・昔ながらの商店が残っている（３点）	・後継者がなかったり、大規模店にお客さんを取られたりして減っている
④創業資金融資利子補給補助事業	・補助（７点）	・資金について現実的な問題であり、補助があることで事業者支援となる
	・件数（３点）	・件数が多いかわからない
	・融資制度の利用（１点）	・利用が一件では活用されていない
全　般	・創業支援のとりくみ（７点）	・ビジネスサポートセンターができたことは評価（相談員の質の向上が課題）
	・創業出来そうか（５点）	◇創業者を受け入れられる地域づくりがいるのでは
	・人口減少市場での支援予測の在り方（３点）	・実施は評価するが、戦略が良くない

施策３．新たな企業の誘致：平均点「７．５点」

具体的な事業	評価の視点（点数）	評価コメント
①工業系土地開発事業	・企業誘致（９点）	・長期間の取組がすごかった
	・話が進んでいるか（８点）	・実施を評価
	・企業誘致（８点）	・岩倉の発展のためには企業に来てもらうことは有効（計画が進んでいるため）
	・新しい工業・企業の誘致がされたか（５点）	・川井野寄地区に企業が来た
	・新しい企業が増えたが既存企業は減っている（５点）	・川井野寄地区への企業誘致は期待できる反面、他の場所に増えているか むしろ減っているのではないか

	・川井、野寄の件（１点）	・岩倉としてのバランスを崩しているのではないか、〇〇、〇〇、広々空間
②市内全域における企業立地及び企業誘致	・企業誘致（７点）	・倉庫を増やさず会社になると良い
	・―（５点）	・現在、どこまで進んでいるのかわからない
全　般	・企業メリット効果（６点）	・岩倉の土地、その他の強みにマッチした事業はそこに特化したPRになる

施策４．優秀な労働力の持続的な確保：平均点「４．８点」

具体的な事業	評価の視点（点数）	評価コメント
①岩倉ものづくりＦＯＣＵＳの作成及び活用事業	・FOCUSの活用（６点）	・冊子がよくできているので ◇もっとPRするべき（電子BOOK等）働く世代にも周知するなど
	・何歳になっても働けるか（６点）	―
	・FOCUSの発行（６点）	◇今後の取組もあると良い
	・―（５点）	・目立たない、知らない会社にフォーカスしたところが良かった
②職場体験学習等の充実	・職場体験（８点）	・職場体験が楽しそう
	・子どもの頃から岩倉市で働きたいと思える（６点）	・中学生の職場体験は良いと思う 私が子どもの頃（一宮市）はなかった
	・中学生の職場体験に地元企業入社を促すこと（２点）	・せっかく職場体験しても卒業後、市外企業に行ってしまうことを防ぐ方策
③体系的なキャリア教育推進事業	―	―
④就職フェア開催事業	―	―
⑤女性のための仕事支援	―	―
全　般	・キャリア教育（５点）	・今働いている人への支援があれば
	・定年後、仕事できるか（５点）	
	・人口減少市場での労働力確保の在り方（３点）	・実施は評価するが、戦略が良くない
	・必要性（１点）	・市外に働きに行けば良いのではないか

基本目標２「新しい人の流れを作る」

施策１．若い世代の移住・定住の促進　：平均点「５点」

具体的な事業	評価の視点（点数）	評価コメント
①若い世代を中心としたシティプロモーション戦略の推進	・外からの評価（８点）	・他市からうらやましがられている
	・PR効果（８点）	・若い世代にリーチできている １ｓｔステップとしては成功！ ◇次は幼稚園から小学校へと上がっても良い環境だよ！といえるアピール施策
	・ブランドロゴの作成（８点）	・いわくらしやすいの宝化戦略　わかりやすい

	・「いわくらしやすい」（６点）	・市外にはもちろんだが、市内への宣伝はどうなのか
	・シティプロモーションの有り方　ポスター（５点）	・ベーシック看板利用　缶バッチの考慮要検証
	・若い世代の移住（５点）	・駅の近くじゃないと車がないと生活が難しい
	・ブランドロゴの作成（５点）	・市外では知られていないが、岩倉のイメージUPには良いのではないか
	・市外住民への周知力（４点） ・―（４点）	・市民の認識に説得力が見られない 他地域（自治体）と比較して考えるべき
	・シティプロモーション（４点）	・若い世代を中心としたシティプロモーションなので若者しか知らないのか 若者でも知っているのか
	・いわくらしやすさの浸透（３点）	・ブランドロゴは作ったが市民でも知っている人が少ない
	・地元企業を交えた定住促進（０点）	◇例えば石塚ガラスとタイアップした若年者定住策
②ホームページ等を活用した情報発信	・多数の人への訴求（１０点）	・リニューアルし使いやすくすることは必要、スマートフォン対応も必要
	・若い世代が岩倉のことを知りやすくなったか（７点）	・ホームページやSNSに積極的に取り組み、他の地域の方、これから移住する方が調べやすくなった（認知度が低い気がするため少し減点）
	・ホームページ（スマホ版）（７点）	・今までスマホ対応していなかったから
	・―（７点）	・市のホームページのどこに知りたいことがあるのか、まずわからない わかりやすい言葉がほしい ◇フェイスブックは内容によっては可能性大だと思う
	・ホームページ等の利用者数（６点）	・どこに情報があるかわからないという声がある
	・多数の人への訴求力（６点）	・フェイスブックよりもTwitterの方が良いのでは
	・時点更新（５点）	・なかなか新しい情報が載らない
①②共通	・―（３点）	・移住促進、定住増加はあったが大山寺駅と徳重名芸大駅の格差はなぜついたのか
	・情報発信（２点）	・SNSに頼り過ぎずやりましょう
③空き家等利活用推進事業	・空き家対策に根本的施策を（６点）	・空き家再活用補助金など
	・空き家の数（５点）	・空き家バンクがができたが、利用が少ない・空き家の数は増え続けている
	・空き家の数（４点）	・仕組みはできたものの、利用が少ない
	・空き家バンクを訪問、リニューアル（４点）	・店舗を確保　提案
	・空き家バンク（３点）	・とても良い内容ですが、知らないことでした 長年住んでいますが、知らないことにびっ

		くりです
	・空き家バンクの活用（２点）	・PR 不足ではないか
④三世代同居・近居支援	・―（５点）	・お金の支援だけか ◇三世代にして、どうなってほしいのかとかよく考えた方が良い
	・公平性（５点）	・制度前に親が同居したので、不公平感がある
	・三世代近居･住宅施策（５点）	・アンケート等で目標は見えている
全　般	・年代別の移住者数（８点）	・新たな住宅開発が多く、若い世帯の流入があった

施策２．観光交流の促進による交流人口の拡大：平均点「５点」

具体的な事業	評価の視点（点数）	評価コメント
①五条川の桜並木の保全	・桜保存（８点）	・保存会との取り組み
	・桜の保全（７点）	・保存会との協働で保全に力を入れている
	・桜並木の保全（５点）	・行政、桜並木保存会、市民との協働が不十分
	・桜の管理（４点）	・季節の桜を切るだけで新しい木を植えないので空間が目立つ
	・桜並木保全資金充実（３点）	◇ふるさと納税収入全額充当
	・もっと国や県に文句を（３点）	・桜の植え替えができない　調整区域が解除できない
	・―（３点）	・今やってくれていることは大変良いと思うけれど、近い将来桜並木はどうなるのか不安がつきまとう
	・他市との連携（３点）	・市民同士の交流会があっても良いのではないか
②桜まつり事業	・適正性（１０点）	・岩倉市の大きな観光資源の保全等を図ることは必要
	・イベントの数（８点）	・新しいイベントが増え、定着しつつある
	・桜まつりの盛り上がり（８点）	・プロモーションも良く、たくさんの人が来るようになり、おまつりも洗練されてきた ◇もっと桜の他の季節にも
	・岩倉駅の定期外利用客（７点）	・桜まつり他の認知度が増した
	・桜まつり来客増対策（６点）	◇天候に左右されない方策
	・事業観点（４点）	・桜は期間が短い ◇桜以外の強みを！
	・―（４点）	・なんでも中心部だけ
	・桜まつり以外の五条川（２点）	・桜まつり以外の年間を通じた五条川の利用・PR
	・五条川の分かりやすさ（０点）	・岩倉駅東からおまつり広場の動線が悪い
①②共通	・桜（５点）	・桜についてのイベントをできる団体が固定化　手が出しにくく、圧がすごい ◇桜に関してもっと PR　桜についてのイベ

		ントをいろんな団体ができるようにしてほしい
③観光振興事業	・ヨーヨーの第一人者がいる（８点）	・ヨーヨーの町としてがんばっている
	・観光振興（７点）	・い～わくん、がんばって市外へも PR に出かけてほしい
	・―（７点）	・桜まつり以外の五条川、下流域の活用
	・これからのい～わくん（５点）	・市内活動だけで良いのか 外に出るならどこまで（尾張なのか、愛知なのか、全国なのか）
	・いーわくんの今後（３点）	・ゆるキャラは今後廃れる 潮時を考えるべき
	・月別の交流人口（２点）	・桜の季節以外の交流人口が少ない
	・新規観光事業の立ち上げ（１点）	◇桜以外の高齢者・子ども連れが関心を持つ事業
④ふるさといわくら応援寄附金事業	・ふるさと納税返礼品（９点）	・20 業者、78 種の数があるのは市の大きさから見てもすごいと思う
	・市内外への PR（５点）	・名古屋コーチンがおいしくてふるさと納税の返礼品だけどあまり知られていない

基本目標３「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」

施策１．若者・女性の就労支援：平均点「４．１点」

具体的な事業	評価の視点（点数）	評価コメント
①就職フェア開催事業	・―（４点）	・若年層のひきこもりへの対策も必要
	・いちのみや若者 SS の出張相談（３点）	・出張相談をしてくれていることは良いのだが、年齢制限や、紹介される企業が少ない
	・若年層が岩倉にもどって就職（２点）	・大学進学で県外へ出て戻って働く割合はどうかな（多くなさそう）
	・就職フェア（２点）	・就職フェアはあるが、岩倉市の企業があまりなく、若者が決めるのに遅々
②女性のための仕事支援	・働くお母さんが増えた（８点）	・創業塾が始まったことは〇 ◇どう広めていくかが課題
	・女性の仕事（５点）	・どうしても育児は母親になりがちなので、子育てと仕事両立サポートは大切 でも起業できる人がどれくらいいるのか
	・働くお母さんが増えた（５点）	・乳児保育の需要は上がっているが、岩倉市では女性向けの仕事が増えた実感はない

施策２．結婚・出産支援：平均点「５．１点」

具体的な事業	評価の視点（点数）	評価コメント
①婚活支援事業	・出会いの場創出（７点）	・婚活セミナーが勉強になった
	・出会いの場がたくさんありにぎやか（４点）	・単発イベントで終わっている印象 若者が集う場がない 公園、商業集積地等

	・―（１点）	◇わざわざイベントじゃなくまつり（大昔みたいな）への参加を増やす全て皆の〇〇など
②28 歳の集い	・出会い（５点）	・年齢の特定はあまりよくない 企画は面白いと思う（視点を変えていろいろやって欲しい）
	・出会いの場を提供（３点）	・28 歳の集いで市の関係者しばりが強いので、婚活支援事業は対象を誰でも OK にしたほうが出会いは増えそう
	・―（１点）	・集まる目的をはっきりしないと何となくで終わるのではないか
①②共通	・―（３点）	◇婚活イベントは参加年齢を制限しなくて良い
③不妊治療助成事業	―	―
④母親教室など各種母子保健指導教室事業	・母子保健事業（９点）	・保健師さん、頑張ってますと感じた
	・お母さんが安心して子育てできる（７点）	・子どもが生まれてから成長に応じて支援してもらっているという声を聞いた
	・―（５点）	◇母親教室も妊娠する前から
⑤保健師･助産師による妊娠期から子育て期の切れ目ない相談支援事業	・―（８点）	・出産は不安ばかり 集まりの場、定期的な支援は大切

施策３．子育て支援：平均点「６．６点」

具体的な事業	評価の視点（点数）	評価コメント
①認定こども園等運営補助事業	・送迎（６点）	・駅に行って、職員さんに子どもを預けられるのはとても便利
	・こども園の運営（５点）	・室外で安心して活動できるスペースがある
②保育園送迎ステーション運営事業	・他市にはない（１０点）	・他市と比較すると充実している
	・子育てしやすい（９点）	・育児もしたいけど、仕事もしたいお母さんのサポートができている
	・現場への負担（７点）	・偏っていないか 現場への負担が多くないか
	・病後児保育のコスト（５点）	・高額で使用しにくいと聞く
③放課後子ども総合プランの推進	・子どもの居場所（７点）	・児童館へ子どもが行きやすい
	・児童館の活用（６点）	・未就学児から高校生まで利用できる
	・放課後の学童（５点）	◇身体を使う運動の時間もあると良いと思う（遊びやスポーツ）
④子ども医療費支給事業	・子育て経済負担が減った（８点）	・子どもの医療費の助成が中３まで伸びた際に喜びの声を多く聞いた（他市よりも早かった）
	・―（７点）	・医療費助成はありがたい！！
⑤第３子以降学校給食費無償化事業	―	―
⑥幼児２人同乗用自転車購入補助事業	―	―

⑦三世代同居・近居支援事業	―	―
全　般	・多世代の交流（５点）	・世代別に分けるメリットもあるが、その分多様性に欠ける

施策４．特色ある教育の推進：平均点「５点」

具体的な事業	評価の視点（点数）	評価コメント
①教育振興基本計画の推進	・外国人子弟との共生（３点）	・東小学校区から北小学校区へ引っ越しした人もあり（現場は苦労しています）
②魅力ある学びづくり支援事業	・他市に比べ岩倉市としての特別な教育ができているか（４点）	・岩倉市の小中学校教育が他市に比べてどこが特別なのか見えてこない
	・岩倉の特色を活かした教育（４点）	・山車の見学をする学校が増え、保存会の次世代の育成
	・学校で教育（授業）（３点）	・IT 教育等、夢を感じる授業があると良いと思う
③食育推進事業	・食育（８点）	・地元の食材や行事食など、子どもが成長していくうえで、学べることがいっぱいあるシェフのスペシャルメニューは子どもが楽しいイベントだと思う
	・食育推進事業（８点）	・食育、地産地消１００％
	・食べることを子どもが学べる（７点）	・食育に力を入れている
	・給食の評価（５点）	・セレクト給食や地産地消の取り組みは良いが、通常の食事の評価が低い
全　般	・福祉実践教室（９点）	・福祉実践教室で障がい者とふれあい

基本目標４「時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守る」

施策１．健康寿命の延伸：平均点「５．２点」

具体的な事業	評価の視点（点数）	評価コメント
①地域保健活動推進事業	・健康に生活ができる（８点）	・健康づくりの事業が充実している
	・皆が使いやすい施設の〇〇（５点）	・五条川両岸のコース沿いの施設
②トレーニング室を活用した運動プログラムの作成	―	―
③健康づくり事業	・自主的に参加すればいくらでも活用できる（８点）	・場の提供がある 個々の行動自身で決まる事
	・健幸都市宣言（３点）	・認知されているか ◇「けんこう」という漢字の書き取りで「健幸」が「×」になったとき、立派な施策と弁解できるよう市民に認知できれば良い
	・健幸都市宣言（０点）	・何をするのかわからない
④人間ドック費用助成事業	・総合病院（６点）	・市内の医院に限定されている（総合病院がない）
⑤地域包括支援センター	・認知症（５点）	・ますます増加するであろう認知症や高齢者に市民がサポートできる体制を作って

設置事業		ほしい まだまだ足らないのではないか
	・認知症（５点）	・これから徘徊等増える どうしていくか
	・65 歳以上の引きこもり率（３点）	・認知症予備軍の世代が引きこもると将来医療費増
⑥スポーツの普及振興事業	・有効性（１０点）	・市民健康マラソンには老若男女多彩な市民が参加して良いイベントだと思う
	・スポーツが身近な環境（９点）	・市民体育祭、市民健康マラソン等身近なスポーツイベント
	・―（８点）	・スポーツに参加できる機会が増えた
	・健康推進、全員参加（５点）	・マラソンに参加している 他は知らないことあり
	・五条川マラソン（３点）	・五条川マラソンがなくなった
	・定量的評価できるか（３点）	・参加者数、その広がり、男女差、地域間格差
全　般	・スポーツ健康維持に必要な環境（７点）	・設備、環境、機会などあるか
	・車以外で外出しやすいか（２点）	・歩道にゆとり、木陰・ベンチなどがない ◇歩道にゆとりがあったり、木陰・ベンチなどがあれば自然と人は歩く 心の健康、人との交流

施策２．防災・防犯対策の充実：平均点「４．１点」

具体的な事業	評価の視点（点数）	評価コメント
①地域防災力強化推進事業	・安心・安全な暮らし（７点）	・大災害時の備えがある（防災訓練、職員対応）
	・画一的な防災訓練を実践的に（５点）	◇例えば、実際の避難を体験
	・安心・安全な暮らし（１点）	・防災訓練に参加する若者が少ない
②防災対策推進事業	・防災を考慮した町づくり（４点）	◇五条川両岸に入る防災道路確保の推進
	・防災（評価なし）	◇台風 15 号の千葉県の反省がどのように生かされるか
①②共通	・防災訓練（５点）	・参加されているのは高齢者、実践力があるのは若者 ◇若い世代が関われる工夫をしてほしい（市から通知を送り、強制参加させるとか）
	・楽しく防災（評価なし）	◇楽しくすれば参加する
③地下貯留施設等整備事業	・浸水対策（４点）	・五条川のたびたびのオーバーフロー
④LED 防犯灯設置事業	・適正性（１０点）	・防犯等の設置は有効
⑤安全安心カメラ設置事業	・安心して生活できるか（６点）	・防犯対策になっている
	・犯罪件数（５点）	・空き巣や犯罪は減ったか
④⑤共通	・設置したことは良かった（８点）	・場所の追加や運用を確認できると良い

施策３．持続可能なまちづくりの推進：平均点「５点」

具体的な事業	評価の視点（点数）	評価コメント
①協働のまちづくり推進事業	・地域のつながり（８点）	・市民活動支援センターの充実、市民活動の支援、参加機会の拡大等
	・―（７点）	・いろいろ努力されている ◇人集めが今後の課題
	・市民のつながり（６点）	・市民活動が市民のつながりに役割を果たしているが、まだまだ参加者が少ない
	・外国人への生活情報は十分か（５点）	・市に居住する外国人の生活情報は十分か
	・市民活動への参加（５点）	・参加可能な分かりやすさ
	・新しく団体活動を始めた人数（４点）	・各団体が老齢化しており、団体の継続が困難
②地域コミュニティの強化	・地域コミュニティ強化というけれど（７点）	・民生委員の加重負担感
	・地域コミュニティ強化（３点）	・区長の役割が発揮されているか
	・伝わる力（０点）	・各種情報が発信されても周知されづらい広報・SNS だけでは伝わらないので、もう一押し何かがあると良い
①②共通	・マンネリ化（３点）	・参加者数・内容の固定化
③企業の地域貢献への支援	―	―
④公共施設等の適切な維持管理	・施設の適正設置（５点）	・施設が多すぎ
	・施設の適正な維持管理（５点）	・老朽化が目立つところがある
	・公共施設（４点）	・ただでさえ利用料的に利用しやすいのに、その施設を民営化するのは良いがなくさないようにしてほしい
全　般	・年老いた親とも暮らしたい町（８点）	・同居や近居を助成◎介護が楽になれば
	・障がい者にやさしい市になっているか（５点）	―

＊基本目標４「時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守る」全体への意見として、「多言語・多文化対応（３点）：これから外国人住民が増えていく中で排除されないようにできるのか（職員、広報、HP,SNS）」があった。

第５次岩倉市総合計画策定に関する第３回市民まちづくり会議　結果概要

日時　令和元年 10 月 19 日（土）午前９～12 時
会場　岩倉市役所　７階 大会議室

◆全体ワーク「ミニレクチャー＆公民連携についての話題提供」の感想

前半は、持続可能な未来に向けた公民連携プロジェクト作成に向けて、必要な情報として、持続可能性や公民連携に関するミニレクチャーや話題提供がありました。印象に残ったことや重要だと感じたことなどを、グループ毎に意見交換し、共有しました。出された主な意見は下記のとおりです。

【主なご意見】
- ビジョンが必要
- やりたいことが起点は○、資源が起点は×
- これからは「稼ぐ」視点も求められる
- 岩倉ならでは「トガル」ことが大事
  「歴史」を活かしたい
- 岩倉でできることは何か
  やりたいことの後押しはあるか
- 岩倉はめぐまれた面もあり、危機感が少ない
- 空き家オーナーへのアピール
- 公と民をつなげる
- 公民連携を本当に進める気があるのか
- 敷地には価値がない、エリアには価値がある
  エリアビジョンを確立する
- パブリックマインド　そのモチベーションをどう保つか
- 岩倉の資源、ポテンシャルとは何かを考える
  ‣岩倉の地域資源：五条川、名古屋駅まで１０分、サラリーマン
  公園、公共施設、空き家、遊休農地

◆「岩倉の持続可能な未来にむけた公民連携プロジェクトアイデア」

基本目標１「仕事をつくり安心して働けるようにする」

施　策	タイトル	アイデア
１.中小企業・小規模事業者の振興支援	―	―
２.創業支援・事業承継の支援	岩倉版「stationf」	″空き（空く）施設を活用した岩倉版「stationf」づくり stationf：パリの廃駅を使ったインキュベーションセンター″
３.新たな企業の誘致	岩倉市として「やりたいこと」は何か	何をしたいか（人を集めたい、金を集めたい、企業を集めたい） 次に資産の活用
	野寄地区プロジェクト	現在企業誘致中の野寄地区に付加価値を高めるプロ

		ジェクトを構成し、実効的な結果を得る
４．優秀な労働力の持続的な確保	活動できる場を増やす	仕事、レジャー等を岩倉市内で行う
	サラリーマンファースト岩倉	退職された人の活躍、多様な知識の還元、働きやすい環境
その他	空き家の再利用	空き家（特に店舗）の再利用（統合し多機能施設化）について公民連携で実現すること
	サラリーマン活用＋稼ぐ視点	副業時代、サラリーマン活用→役所仕事の手伝い→パブリックマインド 町に再投資できるような企業を優遇する

基本目標２「新しい人の流れを作る」

施　策	タイトル	アイデア
１．若い世代の移住･定住の促進	住みやすさ重視	空き家などを利用して住みやすさを重視した事業を民間とともに進める
	団地地区再開発プロジェクト	
	遊休農地の活用「家族農園」	キッザニアみたいな子どもが職業（農業）を体験できる場所（高齢者と活動、ボランティア活動など）
２．観光交流の促進による交流人口の拡大	岩倉駅徒歩 10 分圏内の開発	駅前人口の増加、整備し山車三台を駅前に！
	学びの場五条川	駅⇔五条川へ他市から学びに来る 教育（五教科以外（政治、金、IT、農）　教育者＝ベンチャーも（持続）） PR 大切（岩倉市民にまず START、岩倉以外の北名古屋・江南・小牧がメインターゲット、PR＝ベンチャーも（持続））
	岩倉の昔からあるお店をもっと PR	駅前にチェーン店が増えてきたけどもっとおいしいものがあるはず・・・
	駅東に人を！	名古屋から電車で 10 分程度で来られる強みをいかして企業やお店を呼び、新たな観光スポットとする
	もっと「まずは」岩倉を知ってもらう	以前より盛り上がっているとは思うがまだまだ まず一度でも興味を持って来てもらえる様に！
その他	親子で楽しめる好楽農園パーク	市民アンケート：岩倉には休日を過ごす場所がない 農家の高齢化：遊休農地の増加 ↓親子で楽しめる好楽農園パーク 食育の実践、農の学校、食の学校、産直レストラン
	市民を増やす！	
	歴史を取り入れた価値のあるエリアづくり	

基本目標３「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」

施　策	タイトル	アイデア
１．若者・女性の就労支援	―	―
２．結婚･出産支援	―	―
３．　子育て支援	―	―

４．特色ある教育の推進	学習補助事業	「公ー施設、民ー運営」地域の人的資源も活用しながら学力の底上げを図る 外国人等住民も対象にする

基本目標４「時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守る」

施　策	タイトル	アイデア
１．健康寿命の延伸	―	―
２．防災・防犯対策の充実	―	―
３．持続可能なまちづくりの推進	学校と公共施設の民間委託	学校と公共施設（図書館・体育館・公園等）を結び付け、設計・建築・運営を民間に委託し収益を上げてもらう
	くるくるバス	住民の足　お店・公園　体験・コミュニティ　観光・講座　他自治体とのパイプ
	車がなくても「岩倉しやすい📌」	岩倉団地リノベーション　東小地区のにぎわいづくり　石仏←（川沿いでつながる）→岩倉駅⇔大山寺⇔川井（高速道路沿いでつながる）
	公園、公共施設、空き家の活用・再利用	空き時間、空いているスペースで何か連携できないか
	農福マルシェ	農業と福祉の連携
その他	空地と空き家の有効活用を進める	人が住む以外に何かできないか 集まる場所、お店をどのようにマッチングするか
	行動したい人のための体制づくり	行動したい人が岩倉市で活動してくれる体制づくり
	公民連携で駅前エリアビジョン作成	駅前エリアの空地を公でプロットし、公民連携でエリアビジョンを作り出す それを地域外の人たちに知らしめ協力を働きかける
	多国籍のまちづくり	東地区、多文化小学校（東小）、多文化団地（岩倉団地）、多文化商店地区
	遊休農地・高齢者化を見据えた「テーマパーク」	働く場、遊ぶ場、学ぶ場、稼ぐ場、楽しむ場「お金ー産業ー消費」

その他

タイトル	アイデア
稼ぐために民間事業者と連携	市内外問わず、事業者の大小も問わない やる気があれば OK
地理的利点の活用	
独自性・独創性の洗い出しとその活用	
なんでも公が決断して民が協力する	少子高齢化、人口減少、生産年齢人口減少時代到来に備え、いかに公が稼ぎ、活性化できるか 住宅→増、空き家→活性化（公が外に出る民の協力を得る）、人口→増　＝税収増
パブリックマインドをもった民間組織	行政と市民の間に入る「パブリックマインドをもった民間組織」をつくる 行政もお金を稼ぐ、でも欲張らない

第５次岩倉市総合計画策定に関する第４回市民まちづくり会議 結果概要

日時　令和元年 11 月２日（土）午前９～12 時
会場　岩倉市役所 ７階 大会議室

◆グループワーク①「総合戦略のリノベーション」見直しの方向性について

４つの基本目標ごとに、「戦略の基本方向」を踏まえて、総合戦略の「リノベーション（新しい価値の付与）」を議論してもらいました。第４回は、基本目標の２と３についてグループごとに「継続・発展」「改善」「縮小・廃止」の視点から検討した見直しの方向性を、基本目標＋施策ごとに下表にまとめました。

基本目標２「新しい人の流れを作る」

施　策	事業内容		方向性
１．若い世代の移住・定住の促進	①	若い世代を中心としたシティプロモーション戦略の推進	継続･発展２　改善１　新規１
	②	ホームページ等を活用した情報発信	継続･発展２　継続･改善１　新規･改善１
	③	空き家等利活用推進事業	改善２　継続･発展１　新規・発展１
	④	三世代同居・近居支援	改善３　継続１
２．観光交流の促進による交流人口の拡大	①	五条川の桜並木の保全	継続･発展３　改善１
	②	桜まつり事業	改善２　継続･発展１　継続・新規１
	③	観光振興事業	継続･発展３　改善･新規１
	④	ふるさといわくら応援寄附金事業	継続･発展２　改善１

基本目標３「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」

施　策	事業内容		方向性
１．若者・女性の就労支援	①	就職フェア開催事業	継続･発展１
	②	女性のための仕事支援	継続･発展１
２．結婚・出産支援	①	婚活支援事業	改善２　縮小･廃止１
	②	28 歳の集い	縮小･廃止２　改善
	③	不妊治療助成事業	継続２　発展１
	④	母親教室など各種母子保健指導教室事業	継続１　発展１　継続一部改善１
	⑤	保健師・助産師による妊娠期から子育て期の切れ目ない相談支援事業	継続２　改善１
３．子育て支援	①	認定こども園等運営補助事業	発展１
	②	保育園送迎ステーション運営事業	改善１
	③	放課後子ども総合プランの推進	改善１

	④	子ども医療費支給事業	改善１
	⑤	第３子以降学校給食費無償化事業	継続１
	⑥	幼児２人同乗用自転車購入補助事業	廃止１
	⑦	三世代同居・近居支援事業	継続１
	⑧	石仏公園整備事業	改善１
４．特色ある教育の推進	①	教育振興基本計画の推進	改善１
	②	魅力ある学びづくり支援事業	発展１
	③	食育推進事業	継続･発展１　発展１

◆グループワーク②「総合戦略のリノベーション」施策・事業への意見・提案など

施策・事業の見直しの方向性を考えるために、参加者それぞれが事業への具体的な意見・提案・や方向性の理由などをカードに記入、グループごとにまとめてもらいました。主な意見を基本目標＋施策＋事業ごとに下表にまとめました。

基本目標２「新しい人の流れを作る」

１.若い世代の移住・定住の促進

①若い世代を中心としたシティプロモーション戦略の推進

見直しの方向性【継続･発展２　改善１　新規１】（４つのグループが検討）

タイトル・キーワード	主な意見
「いわくらしやすい」	・PR 不足、わかりづらい ・認知度をあげるため、もっと多用する ・市民向けなのか、市外の人向けなのか、不明瞭
企業とのコラボ	・石塚ガラス、名芸大とのコラボ ・石塚ガラスの排熱利用の温水プールや温泉 ・教育系 IT 企業と実証実験
岩倉ならではの特典	・税金、教育、医療など、岩倉市ならではの特典を作る
住んでいても知らないことばかり	・SNS にはうとい人には伝わらない

②ホームページ等を活用した情報発信

見直しの方向性【継続･発展２　継続･改善１　新規･改善１】（４つのグループが検討）

タイトル・キーワード	主な意見
LINE の活用	・い～わくんスタンプを入手しやすく、市民は無料にする、桜まつりとコラボした期間限定スタンプなど ・LINE から HP へ、登録をどう増やすか ･転入時や市のサービスを受ける時に窓口で LINE 登録を呼びかける
ホームページの改善	・見にくい、専門用語はわかりにくい ・行政主導ではなく市民主導で作成する
市民が作る「いわくらペディア」、「いわくら辞典」	・いわくらネタを市民の口コミでどんどんアップ！HP にも市民参加、市民が作るコーナーを
既存のサービスを探す	・新しく作らず、まずは困りごとをまとめる

③空き家等利活用推進事業

見直しの方向性【改善２　継続発展１　新規・発展１】（４つのグループが検討）

タイトル・キーワード	主な意見
空き家活用方法の拡大	・大学生・専門学校生などに低価で貸出 ・カフェ、飲食店など魅力ある店舗とし、人口増加につなげる ・リニア中央新幹線運用開始による労働市場拡大に対応 ・名芸大とコラボし、アート作業場として活用
空き家バンクの制度改善	・空き家は税率を上げ、貸せたら税を優遇する ・一歩踏み込んで、貸し手と借り手双方のルール作り ・空き家活用を④近居支援とリンクさせる
家を手放したくなる仕組みづくり	・税制面、手続き面等、空き家は売って手放そうと思うような仕組みづくり

④三世代同居・近居支援

見直しの方向性【改善３　継続１】（４つのグループが検討）

タイトル・キーワード	主な意見
近居にターゲットを絞る	・同居を望む人は少なく、施策に無理がある 近居に絞った施策を
PR 方法の見直し	・良い制度なのに知られていない ・必要性を感じていない若い世代に知ってもらう工夫
空き家三世代	・空き家バンクを活用し三世代同居の場合は税金面での優遇をする

『新規』若い世代の移住・定住の促進のためのアイディア

タイトル・キーワード	主な意見
文教地区としてのイメージアップ	・ブレンディット・ラーニング導入による小中学校の学びアップ ・学校および家庭環境改善による教育レベルアップ
居住環境の改善	・温泉施設や BBQ 場など家族で過ごせる場づくり ・周遊・巡回バス、ウーバーなど交通手段の確保

２．観光交流の促進による交流人口の拡大

①五条川の桜並木の保全

見直しの方向性【継続･発展３　改善１】（４つのグループが検討）

タイトル・キーワード	主な意見
桜の植替えの実現	・保全や植樹、場所を増やしての植替えなど、なんとしてでも実現させたい ・寄付金の投与、大口町とのタイアップや桜資金・桜募金など複数の手法で効率よく進めたい
桜だけでなく川の保全も	・桜と川の一体管理活用を ・桜だけでなく、堤防に多様な花を（球根植物など）

②桜まつり事業

見直しの方向性【改善２　継続･発展１　継続・新規１】（４つのグループが検討）

タイトル・キーワード	主な意見
岩倉市全体への展開	・桜まつりを五条川だけでなく市内複数拠点で開催 ・下流域の桜も取り上げる

桜まつりの収益力を上げる	・駐車料金を上げて、①に回す ・当日の寄付呼びかけ（ついつい寄付したくなる仕組み） ・出店者を増やす、岩倉の名物を作る
桜まつりの期間以外の楽しみを	・桜自体を広範囲で楽しんでもらう ・五条川とのリンクを考える

③観光振興事業

見直しの方向性【継続･発展３　改善･新規１】（４つのグループが検討）

タイトル・キーワード	主な意見
桜以外の観光資源を	・「桜の岩倉」から「花の岩倉」へ　年間を通じて花を楽しめるよう、彼岸花や紫陽花を植える ・のぼりを活かすこいのぼりフェスタ ・名古屋コーチン
い～わくんの活用	・もっと市外における PR 活動を ・SNS の活用 ・子育ての街 PR のため、い～わくんに家族キャラを作る
観光支援ハードソフトの整備	・市役所以外にも無料 Wifi や充電スポットを ・観光案内所、岩倉駅東口からの観光案内

④ふるさといわくら応援寄附金事業

見直しの方向性【継続･発展２　改善１】（３つのグループが検討）

タイトル・キーワード	主な意見
ふるさと納税の改善	・返礼品の見直しをする、業者を増やす ・様々な場面で PR する（担当課だけでなく） ・桜まつりの桟敷席を復活させ、チケットを寄付の返礼品にし、岩倉に来てもらう
心の岩倉市民（ファンクラブ）	・会報でイベント告知やクーポン送付をする

『新規』観光交流の促進による交流人口の拡大のためのアイディア

タイトル・キーワード	主な意見
五条川の活用	・親水事業や桜まつりの新会場など下流域の活用 ・五条川カードの発行 ・五条川の岸を彼岸花でいっぱいにする
産業観光事業	・桜以外の観光資源として市内の工場見学など
大野市との連携	・大野名水マラソンへのバスツアー ・大野市からも観光客を迎える
電車だけじゃない！ 飛行機の便利さを PR	・日帰りで飛行機（FDA）を使って、出かけられる利便性を PR する

基本目標３「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」

１．若者・女性の就労支援

①就職フェア開催事業

見直しの方向性【継続･発展１】（１つのグループが検討）

タイトル・キーワード	主な意見
岩倉に住んで仕事に行こう	・市内の仕事にこだわらず、市外の仕事も紹介する
ひきこもり専用就職フェア	・ひきこもりの人のニーズで、在宅（SOHO）仕事フェア

②女性のための仕事支援

見直しの方向性【継続･発展１】（１つのグループが検討）

タイトル・キーワード	主な意見
いつでも相談	・就職前だけでなく就職後の相談もしたい
ネガティブワードによる職業案内	・例：「コミュニケーションが苦手」＋「運転は得意」＝トラックドライバー
成功体験で PR	・保育園や学校 PTA の集まりの場で PR（女性起業家の成功体験講演会など）する

『新規』若者・女性の就労支援のためのアイディア

タイトル・キーワード	主な意見
岩倉に帰って働こう！ﾌﾟﾛﾓｰｼｮﾝ	・お盆や正月など帰省の時期に広報などで周知
きれいなシェアオフィスで仕事しよう	・市内にシェアオフィスやコワーキングスペースを整備

２．結婚・出産支援事業

①婚活支援事業

見直しの方向性【改善２　縮小･廃止１】（３つのグループが検討）

タイトル・キーワード	主な意見
「婚活」を前面に出さない	・婚活とはうたわずに、若者が参加したくなるイベント ・さりげないサポートをする〇〇講座
対象や内容を多様にする	・親向けの婚活セミナー：親同士が知り合って紹介 ・父子・母子家庭の婚活支援 ・単発イベントでなく、年間を通じて何かを一緒になしとげるようなプログラム ・デートスポットや若者が集える場を作り、いろいろな学びや会話を創出する
市がやらなくても良い(縮小･廃止)	・定住には「子育て No1」で呼び込む

②28 歳の集い

見直しの方向性【縮小･廃止２　改善】（３つのグループが検討）

タイトル・キーワード	主な意見
対象年齢の見直し	・28 歳にしぼらず対象年齢を広げる ・30～35 歳、36 歳～40 歳･･･60～65 歳など各世代のつながりの場にしてはどうか
何をするのかわからない	・内容があいまい、国の補助金が出るのであれば継続

③不妊治療助成事業

見直しの方向性【継続２　発展１】（３つのグループが検討）

タイトル・キーワード	主な意見
継続、助成の拡大	・対象年齢の引き上げ
不妊治療への理解を深める	・夫婦で理解を深める場を さらには男性向けや親世代を対象に

④母親教室など各種母子保健指導教室事業

見直しの方向性【継続１　発展１　継続一部改善１】（３つのグループが検討）

タイトル・キーワード	主な意見
継続と発展	・今後も継続してほしい 母親のニーズを聞いてさらなる発展を
情報発信方法の改善	・母子手帳配布時の書類が多すぎで分かりづらい ・妊娠・子育て期間、なんでも相談できる窓口の設置
家族みんなで子育て	・父親教室も開いては ・経験豊かなお年寄りの話を聞く機会を

⑤保健師・助産師による妊娠期から子育て期の切れ目ない相談支援事業

見直しの方向性【継続２　改善１】（３つのグループが検討）

タイトル・キーワード	主な意見
おいでん初心者ママ	・子育て中のママパパがいつでも、誰でも悩み相談できるカフェなどを多世代で開催できると良い

『新規』のためのアイディア

タイトル・キーワード	主な意見
親になる前に結婚・子育て教室	・中高生向けに結婚・子育てに関する教室を開く
里親のまち、いわくら	・里親制度の周知と提案助成を行う
ファイナンシャルプラン教室	・結婚、出産までのお金の流れを理解する

３．子育て支援

①認定こども園等運営補助事業

見直しの方向性【発展１】（１つのグループが検討）

タイトル・キーワード	主な意見
病児保育の充実	・病児保育の定員、受け入れ先を増やす ・市内が難しければ市外助成を同額にする
学校内や介護施設内に	・多世代交流しやすいのでは
保育士の充実	・資格は持っているがフルタイムでは働けない人に登録してもらい、ピンポイントで派遣 ・外国籍の子どもの保護者と話せる語学のできる保育士

②保育園送迎ステーション運営事業

見直しの方向性【改善１】（１つのグループが検討）

タイトル・キーワード	主な意見
親と保育園のコミュニケーション	・駅利用は便利、親と保育園の交流を深める工夫が必要

③放課後子ども総合プランの推進

見直しの方向性【改善１】（１つのグループが検討）

タイトル・キーワード	主な意見
放課後児童クラブの充実	・今は屋内でしか過ごせないが、外で運動できるように ・児童館は施設容量に限界があり、学校での実施を
児童館・公民館の活用	・地域の人の協力を得て公民館で ・利用の少ない児童館を民間に開放する

④子ども医療費支給事業

見直しの方向性【改善１】（１つのグループが検討）

タイトル・キーワード	主な意見
薬に頼り過ぎない指導も	・医療費無料だからか薬に頼りすぎ、薬に頼るリスクもきちんと伝える

⑤第３子以降学校給食費無償化事業

見直しの方向性【継続１】（１つのグループが検討）

タイトル・キーワード	主な意見
今後も継続を希望	・そのまま継続を望む

⑥幼児２人同乗用自転車購入補助事業

見直しの方向性【廃止１】（１つのグループが検討）

タイトル・キーワード	主な意見
本当にニーズがあるのか	・どれだけのニーズがあるか不明 需要を調べ、なければ他の事業に予算を回す

⑦三世代同居・近居支援事業

見直しの方向性【継続１】（１つのグループが検討）

タイトル・キーワード	主な意見
事業の見直し	・金額の少なさに驚いた 他の事業に回しては

⑧石仏公園整備事業

見直しの方向性【改善１】（１つのグループが検討）

タイトル・キーワード	主な意見
改善・整備の方向性	・スポーツなどテーマを持って公園をつくってほしい ・中途半端な広さ、どれだけの人が使っているのか
公園にテナント	・テナントを設置し、維持費を稼ぐ

『新規』子育て支援のためのアイディア

タイトル・キーワード	主な意見
ファミサポをもっとアピール	・支援者リストを作るなど、せっかくの制度の充実と PR を！

４.特色ある教育の推進

①教育振興基本計画の推進

見直しの方向性【改善１】（１つのグループが検討）

タイトル・キーワード	主な意見
外国籍の子どもについて	・外国人の子どもの教育支援状態把握が必要 ・公民共有の集いの場を設ける
もっとわかりやすく	・総合的ではなく、市としてポイントを絞って推進

②魅力ある学びづくり支援事業

見直しの方向性【発展１】（１つのグループが検討）

タイトル・キーワード	主な意見
もっと分かりやすく	・内容がわかりにくいため、具体的な施策に
いつでもネイティブと	・AET を各校に一人常駐させる
歴史を学ぶ	・山車の見学を全学校で実施、大人向け教室も実施

③食育推進事業

見直しの方向性【継続･発展１　発展１】（２つのグループが検討）

タイトル・キーワード	主な意見
子ども向けの継続と発展	・食べるだけでなく作ること「子どもシェフ」「お手伝い習慣づけ」「ひとりでできるもん」イベント ・学校に田んぼ・畑など地産地消、生産も学ぶ
親向けの食育指導	・親への食育を進め、より健康な子どもに！

『新規』特色ある教育の推進のためのアイディア

タイトル・キーワード	主な意見
IT・スポーツ等の専門職	・専門性の高い人に午前は役所で勤務、午後は学校で教職をしてもらう
あこがれの選手と体力づくり	・有名な選手を呼んで、子どもたちに夢を与え、体力向上、青少年、老人、大人も健幸に
岩倉市立国際東小学校	・小学校区をなくし、グローバルを売りにしてい～わくん号で送迎するなど一般に公開できるものにする
文化の継承者を育てる	・子どもの頃から教育し、28 歳の集いで代表者継承
放課後のまなびの場をつくる	・学習塾と協力し、地域のボランティアを活かし、子どもの学力底上げを図る（外国にルーツを持つ子どもも対象に）
ライフプラン教育の充実	・生涯ファイナンシャルプランなど、人生で必要となるお金についての教育を

第５次岩倉市総合計画策定に関する第５回市民まちづくり会議　結果概要

日時　令和元年 11 月 30 日（土）午前９～12 時
会場　岩倉市役所　７階 大会議室

◆グループワーク①「総合戦略のリノベーション」見直しの方向性について

４つの基本目標ごとに、「戦略の基本方向」を踏まえて、総合戦略の「リノベーション（新しい価値の付与）」を議論してもらいました。第５回は、基本目標の１と４についてグループごとに「継続・発展」「改善」「縮小・廃止」の視点から検討した見直しの方向性を、基本目標＋施策ごとに下表にまとめました。

基本目標１「しごとをつくり、安心して働けるようにする」

施　策		事業内容	方向性
１．中小企業・小規模事業者の振興支援	①	中小企業・小規模事業者活性化行動計画の推進	継続･発展１　改善１
	②	地域産業活性化支援事業（ビジネスサポートセンター事業）	継続･発展・改善１　新規１
	③	経営発達支援計画の推進支援	継続･発展１　改善１
	④	中小企業・小規模事業者従業員研修支援事業	継続･発展・改善・新規１ 改善１
	⑤	販路開拓・拡大支援事業	改善１　新規１
	⑥	小規模企業等振興資金融資事業	改善２
２．創業支援・事業承継の支援	①	創業支援事業計画の推進	新規１　縮小･廃止１
	②	地域産業活性化支援事業（ビジネスサポートセンター事業）	改善１　縮小･廃止１
	③	事業承継促進事業	改善１　縮小廃止１
	④	創業資金融資利子補給補助事業	改善１　縮小廃止１
３．新たな企業の誘致	①	工業系土地開発事業	縮小･廃止１
	②	市内全域における企業立地及び企業誘致	改善１
４．優秀な労働力の持続的な確保	①	岩倉ものづくりＦＯＣＵＳの作成及び活用事業	継続･発展・改善１　改善１
	②	職場体験学習等の充実	改善１　縮小廃止１
	③	体系的なキャリア教育推進事業	新規１　改善１
	④	就職フェア開催事業	改善・縮小･廃止１　縮小･廃止１
	⑤	女性のための仕事支援	新規１

基本目標４「時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守る」

施　策		事業内容	方向性
１.健康寿命の延伸	①	地域保健活動推進事業	継続･発展１　改善２　新規１
	②	トレーニング室を活用した運動プログラムの作成	新規１　改善１　継続･発展２
	③	健康づくり事業	新規２　継続･発展２
	④	人間ドック費用助成事業	新規１　改善２　継続･発展１
	⑤	地域包括支援センター設置事業	継続･発展３　改善・新規１
	⑥	スポーツの普及振興事業	新規２　改善１　継続･発展１
２.防災・防犯対策の充実	①	地域防災力強化推進事業	改善２　新規・改善１
	②	防災対策推進事業	改善１　継続･発展１
	③	地下貯留施設等整備事業	継続･発展２
	④	LED 防犯灯設置事業	継続･発展３
	⑤	安全安心カメラ設置事業	継続･発展３
３.持続可能なまちづくりの推進	①	協働のまちづくり推進事業	改善２
	②	地域コミュニティの強化	継続･発展１　改善１
	③	企業の地域貢献への支援	新規１　改善１
	④	公共施設等の適切な維持管理	新規１　改善１

◆グループワーク②「総合戦略のリノベーション」施策・事業への意見・提案など

施策・事業の見直しの方向性を考えるために、参加者それぞれが事業への具体的な意見・提案・や方向性の理由などをカードに記入、グループごとにまとめてもらいました。主な意見を基本目標＋施策＋事業ごとに下表にまとめました。

基本目標１「しごとをつくり、安心して働けるようにする」

１．中小企業・小規模事業者の振興支援

①中小企業・小規模事業者活性化行動計画の推進

見直しの方向性【継続･発展１　改善１】（２つのグループが検討）

タイトル・キーワード	主な意見
対象中小企業の分析	・強みや弱み、ライバル企業等支援に必要な情報を収集 ・異業種のつながり強化のため、市内事業者をリストアップする
横のつながり	・市内の中小企業の横のつながりをつくる
税の軽減	・支払い部分を少なくする

②地域産業活性化支援事業（ビジネスサポートセンター事業）

見直しの方向性【継続･発展・改善１　新規１】（２つのグループが検討）

タイトル・キーワード	主な意見
ビジネスサポートセンターの利用率アップ	・商工会員でなければ使えないイメージ、商業施設など立ち寄りやすい施設への移転もありか ・具体的サポートテーマ相談日や相談内容の事例発表会など参加しやすい工夫を
カリスマスタッフ	・この人なら何とかしてくれる！と思われるスタッフを雇用育成 ・必要であれば内部に入り込んで経営改善するコンサルタントをスタッフとする
企業の PR 支援	・PR はコストがかかる 各企業の PR を広報等に掲載する

③経営発達支援計画の推進支援事業

見直しの方向性【継続発展１　改善１】（２つのグループが検討）

タイトル・キーワード	主な意見
わかりやすくする	・現在はわかりにくい
企業版支援センター	・市民活動支援センターの企業版を作る

④中小企業・小規模事業者従業員研修支援事業

見直しの方向性【継続･発展・改善・新規１　改善１】（２つのグループが検討）

タイトル・キーワード	主な意見
相談会・セミナーの継続・改善	・実施結果をちゃんと追う 効果が数字に表れなければ改善 or 縮小を検討
市職員向け研修の開放継続・発展	・市職員向け研修の開放は続けた方がよい それに加えて民間の研修受講費を補助してはどうか ・経営に関する研修（簿記、財務諸表）を企画し、それに

	興味のある市職員の参加を受け入れる
プロボノ市民講師	・市民の講師（市民ファシリテーターなど）登録、養成、派遣など

⑤販路開拓・拡大支援事業

見直しの方向性【改善１　新規１】（２つのグループが検討）

タイトル・キーワード	主な意見
企業コラボ支援	・市内の中小企業と IT 等の中小企業をつなぐコーディネーターを雇う ・市内の企業がすべてわかるサイトや場所の提供
販路拡大方法の拡充	・商工会、金融機関以外にも連携できるところはないか
イベントによる認知度アップ	・「まちドル（チケット）」で食べ飲み歩き ・「まちゼミ」お店で体験セミナー ・「ハロウィン」歩き、楽しみ、市内の店を知ってもらう

⑥小規模企業等振興資金融資事業

見直しの方向性【改善２】（２つのグループが検討）

タイトル・キーワード	主な意見
わかりにくい	・この事業の意味がわかりにくい ・わかりやすいネーミングにする
市独自の融資制度の創設	・県の融資制度だけでなく、市でもプラスアルファする

『新規』中小企業・小規模事業者の振興支援のためのアイディア

タイトル・キーワード	主な意見
社会的な事業の促進	・社会課題の解決につながる事業に対する支援強化、資金援助
企業支援サービスの活用	・すでにあるサービスを利用する

２．創業支援・事業承継の支援

①創業支援事業計画の推進

見直しの方向性【新規１　縮小･廃止１】（２つのグループが検討）

タイトル・キーワード	主な意見
市の力を借りて全面 PR	・広告宣伝費はコストが高いため、市で持ってもらえれば楽になる
税の軽減	・創業後３年は軽減する
廃止の上、全面リニューアル	・廃止の上、全面リニューアルする

②地域産業活性化支援事業（ビジネスサポートセンター事業）

見直しの方向性【改善１　縮小･廃止１】（２つのグループが検討）

タイトル・キーワード	主な意見
空き家・公共施設利用	・使われていないスペースを低コストで貸す ・複数の起業者が施設をシェアする
スモールビジネス、チャレンジ創業を支援	・大規模はリスクが高いから避ける ・困ったこと（例：子どもの預かり）がある→仲間同士で創業

創業は東京（事業廃止）	・岩倉市に市場としての魅力がなければ創業はしない

③事業承継促進事業

見直しの方向性【改善１　縮小･廃止１】（２つのグループが検討）

タイトル・キーワード	主な意見
「いわくらしやすい」ブランドの強化	・「いわくらしやすい」を起業向けにレベルアップ ・市も基本目標２～４にマッチする会社に絞る
市民活動からの課題	・若者サラリーマンの交流サロン ・相談交流会、SNS と異業種交流
コーディネーターが必要	・岩倉はサラリーマンの宝庫

④創業資金融資利子補給補助事業

見直しの方向性【改善１　縮小･廃止１】（２つのグループが検討）

タイトル・キーワード	主な意見
わかりにくい	・この補助事業を知っている人はいるのか
創業者の掘り起こし（例：農産物を売りたい、起業したい人）	・創業後の支援も

『新規』創業支援・事業承継の支援のためのアイディア

タイトル・キーワード	主な意見
起業者教育	・起業の楽しさ、難しさを伝える
商工会と市役所の線引き	・市民は、商工会と市役所の役割分担が分からない
空き家活用との連携	・空き家での事業を市がバックアップする

３．新たな企業の誘致

①工業系土地開発事業

見直しの方向性【縮小･廃止１】（１つのグループが検討）

タイトル・キーワード	主な意見
工業系にこだわらない	・工業系は大口町、小牧市にまかせて岩倉は路線を変えてはどうか

②市内全域における企業立地及び企業誘致

見直しの方向性【改善１】（１つのグループが検討）

タイトル・キーワード	主な意見
市内の既存施設を使って	・岩倉団地の一棟を丸ごと小規模オフィス棟にリフォームする（IT 特化するなど） ・駅前のオフィスの IT インフラ整備
交通利便性をアピールする	・場所を選ばない企業、小スペースでできる企業を誘致
シェアリングサービス活用	・テレワークとの組み合わせ ・オフィスシェア（テナント一社ではコストが大きい）

『新規』新たな企業の誘致のためのアイディア

タイトル・キーワード	主な意見
IT 企業の営業力支援	・IT の成功は営業力にかかっている、営業会社もセット

	で誘致する
市と企業をつなぐ会社の活用	・ローカルベンチャー支援、サテライトオフィス、テレワークサービス
農園パーク	・工業にこだわらず、農園パーク内にレストラン、高齢者施設等、岩倉に多い中小企業に入ってもらう
集いの場を作る	・市内に人がとどまるよう、楽しく過ごせる場をつくる

4．優秀な労働力の持続的な確保

①岩倉ものづくりＦＯＣＵＳの作成及び活用事業

見直しの方向性【継続･発展・改善１　改善１】（２つのグループが検討）

タイトル・キーワード	主な意見
FOCUS の周知方法を多様化	・FOCUS の存在を知らない人が多い ・市内施設のラックに置く ・ネット上に展開する（HP、LINE、FB 等）
広報に掲載	・作成のコストよりも安いのではないか
学生による FOCUS	・企業を調べ、取材、冊子作製まで学生に委ねる

②職場体験学習等の充実

見直しの方向性【改善１　縮小･廃止１】（２つのグループが検討）

タイトル・キーワード	主な意見
職場体験の効果検証・改善	・実際の仕事を体験できていないのではないか ・体験が労働力確保にどれくらいつながっているのか
大人向けの職場体験教室	・大人を対象とした職場体験教室で企業を PR する
中学生の職場体験継続	・中学生のうちから市内の企業について知り、体験することは良い

③体系的なキャリア教育推進事業

見直しの方向性【新規１　改善１】（２つのグループが検討）

タイトル・キーワード	主な意見
体系的キャリア教育プログラム	・小中学生の夢や実現するための話を聞くキャリア教育相談室 ・多様な職業について、授業の中で伝えていく
高校生・大学生のインターンシップ制度	・学校単位ではなく、個人で参加も ・岩倉で働くことを意識する機会作り
高齢者の知識を伝授する場を増やす	・生産→加工→販売の一連の流れができるよう、退職者が教える

④就職フェア開催事業

見直しの方向性【改善・縮小･廃止１　縮小廃止１】（２つのグループが検討）

タイトル・キーワード	主な意見
就職フェアの見直し	・様々な場所で開催されている（ネットでも）市がやる必要はないのでは ・開催があまり知られていない
ターゲットやテーマを絞る	・職種を絞り、人材確保につなげる ・毎月小規模業種ごとの交流会フェア ・定年退職後向けの再就職フェア、地元志向で

⑤女性のための仕事支援

見直しの方向性【新規１】（１つのグループが検討）

タイトル・キーワード	主な意見
子育て後の働きたい女性と企業のマッチングサイト	・子育て期間は人によって違うので働きたくなった時に仕事が見つかりやすい環境の整備
女性向けの支援の見直し	・女性の起業を支援するだけでなく、女性向け求人とのマッチング　起業まではしないという人向けの施策を充実させる

『新規』優秀な労働力の持続的な確保のためのアイディア

タイトル・キーワード	主な意見
職場体験よりも起業・創業体験	
マネーライフプラン体験	・職場体験ではなく、将来に向けた勉強の方を

基本目標４「時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守る」

１．健康寿命の延伸

①地域保健活動推進事業

見直しの方向性【継続･発展１　改善２　新規１】（４つのグループが検討）

タイトル・キーワード	主な意見
高齢者の外出促進	・高齢者の外出に目的別でポイントを与えるなど ・若いうちから地域コミュニケーションを確立する
健幸のための各種教室	・減塩目標をかかげ、少しずつ減塩 ・中年太り解消のためのダイエット食教室
６５歳以上対象料理教室	・独居になった時のために
市内企業との連携	・市内飲食店と協働し、健幸メニューの開発・提供 ・スーパーで減塩メニューのレシピ公開、材料販売
健康マイレージをプレミアム商品券	･マイレージをプレミアム商品券にすれば参加者も増え、商業発展にもつながる

②トレーニング室を活用した運動プログラムの作成

見直しの方向性【新規１　改善１　継続･発展２】（４つのグループが検討）

タイトル・キーワード	主な意見
トレーニング教室の拡大	・トレーニング室の器具の改善、広い場所への移動
女性専用プログラム	・トレーニング室を使いやすいように「女性専用プログラム（時間）」を作る

③健康づくり事業

見直しの方向性【新規２　継続･発展２】（４つのグループが検討）

タイトル・キーワード	主な意見
五条川健幸ロードプロジェクト	・散歩、ランニング、交流のための沿道等々整備、バリアフリー化 ・健幸マラソンの拡大 ・給食センター跡地と健幸ロードをセットに開発
健康マイレージ事業の発展	・スマホとの連携 ・健康マイレージを広域利用できるように
食育教室の推進	

い～わくんと一緒に学ぶ 0 からの健康教室	・2020 年度からがん教育がスタートするのに合わせ、小さい頃から健康の大切さを知るきっかけを作る
MY 健康カード	・施設の利用許可証とトレーニング記録ができるカード 一定以上の人には贈り物
岩倉市民プールの設置	・総合教育文化センターに岩倉市民プール（温水）を設置する

④人間ドック費用助成事業

見直しの方向性【新規１　改善２　継続･発展１】（４つのグループが検討）

タイトル・キーワード	主な意見
人間ドックの市内限定解除	・他市町村の病院での受信も対象にする
人間ドックツアー	・独りではなかなか行かない人にもきっかけとなる

⑤地域包括支援センター設置事業

見直しの方向性【継続･発展３　改善・新規１】（４つのグループが検討）

タイトル・キーワード	主な意見
地域包括支援センターって何？！	・名前から何するのかわかりづらい 市独自の愛称を
地域包括ケアの拡大	・官だけでなく銀行や企業など民とのネットワーク構築
包括支援センターの出張	・センターは遠く利用しづらい、地域に気軽に相談に行ける場が欲しい ・公民館や寺等を利用し、定期的に開催

⑥スポーツの普及振興事業

見直しの方向性【新規２　改善１　継続･発展１】（４つのグループが検討）

タイトル・キーワード	主な意見
マラソン大会の拡大、多様化	・市民マラソンを２市３町協働で拡大開催 ・「五条川マラソン」の復活
大野マラソンツアーの開催	・友好交流都市である大野市で開催される大野名水マラソンへ参加するツアーを開催する
スポーツができる場を身近に	・自由に球技ができる公園を身近に整備 ・体育館を活用

『新規』健康寿命の延伸のためのアイディア

タイトル・キーワード	主な意見
気軽に集まれる場づくり	・空き家を市で借り上げて立ち寄れるサロンを作る
ミニ・トレーニングサロン	・トレーニングマシンを２～３台置いたサロン
商店街ウォーキング大会	・あえて駅前商店街を歩く大会　健康と商店街の発展できれば小中学生参加で

２．防災・防犯対策の充実

①地域防災力強化推進事業

見直しの方向性【改善２　新規・改善１】（３つのグループが検討）

タイトル・キーワード	主な意見
防災・減災をテーマとした多様な	・防災・減災をテーマにワークショップを単発ではなく、

ワークショップの継続的開催	継続的に開催する JVORD(NPO)などと協力する ・小規模での防災訓練・講座 ・新区長研修で HUG 実施 ・災害発生時「情報共有会議」における議論を視覚化する板書技術を専門家とともに学ぶ ・いざという時の行動計画マイタイムラインを各家で作成できるように講習会を行う
DIG の継続的開催	・DIG(災害図上訓練）を単発ではなく継続的開催する 市立学校の生徒には全員受講してもらう
各防災会の防災会長の設置	・今は、区長と掛け持ちがほとんど 共助が発展しない(防災会長を複数人設置し、手当を出す）
名古屋大学減災館視察ツアー開催	・名古屋大学「減災館」の視察ツアーを継続的に開催
防災かるたの全児童への実施	・防災かるたを活用した防災啓発活動を全児童に実施

②防災対策推進事業

見直しの方向性【改善１　継続･発展１】（２つのグループが検討）

タイトル・キーワード	主な意見
避難所の環境について見直し・改善	・避難所のキャパと想定される住民数のバランスは大丈夫なのか、浸水して使用不可とならないか ・ペットの受け入れ、プライベートの配慮等、改善を検討
防災訓練の多様化	・「One team 岩倉」:「市」「市民」「民間団体」が同時実施の訓練（発災から 4 時間） ・競技化：スポーツ的要素を取り組むことで若者の参加を促す
防災食アレンジ教室 or コンテスト	・楽しく防災について学ぶ機会をつくる

③地下貯留施設等整備事業

見直しの方向性【継続･発展２】（２つのグループが検討）

タイトル・キーワード	主な意見
地下貯留施設増強推進	・地球温暖化に伴って予想される水害に対する対応が必要
貯留施設見学ツアー	・せっかくなので施設の内部を市民に見せる

④LED 防犯灯設置事業

見直しの方向性【継続･発展３】（３つのグループが検討）

タイトル・キーワード	主な意見
LED 防犯灯の設置拡大	・要望があるところに引き続き設置

⑤安全安心カメラ設置事業

見直しの方向性【継続･発展３】（３つのグループが検討）

タイトル・キーワード	主な意見
安全・安心カメラ	・要望があるところに引き続き設置

『新規』防災・防犯対策の充実のためのアイディア

タイトル・キーワード	主な意見
SNS 講座等	・小中学校で SNS に対する教室の実施（親と一緒）
女性のための防犯教室	・自分を守る術を教えてほしい
老人の一人世帯の見回り	・週二回程度の単身高齢者世帯の巡回

３．持続可能なまちづくりの推進

①協働のまちづくり推進事業

見直しの方向性【改善２】（２つのグループが検討）

タイトル・キーワード	主な意見
活動団体に参加しやすい仕組みづくり	・一日体験 ・高齢者（男性）の環境保全等まちづくり活動へ参加促進 ・健康な高齢者が市民活動に参加した場合にマイレージポイントを与える制度を！
小学校単位の地域福祉計画の推進	・〃学区コミュニケーション機会の増大 ・運動会と防災・健康増進「あそぼう災♪」〃
市内文化資産管理に市民活動団体活用を	・当該物件を行政直轄から市民団体に移し、費用削減などを図る
他人の防災対策（家屋）推進	・南海トラフ襲来に備えて木造家屋の補強対策を町内会などで議論し、実施するよう進める

②地域コミュニティの強化

見直しの方向性【継続･発展１　改善１】（２つのグループが検討）

タイトル・キーワード	主な意見
公式 LINE 整備（情報の整理）	・誰でも見られるよう（お年寄りにも見られる） ・ま高齢者にスマホを支給、使用方法を指導する
行政区制度（現行）改善	・区民のためになっているのか（廃止希望） ・区長の成り手が出ない現実から行政区を 30→５～６（学区程度）に改め、役割分担を含めた改善を ・区長会での内容を市民に発表したり、前向きに進めないのなら、それらは福祉市民会議などへ移行する
五条川のような道を東西南北に	・気軽に快適に歩ける道があれば自然と交流がうまれ、健康に
サロン活動の全区への展開	・誰でも自由に話し合える場、市民会議よりも気軽にできる高齢者の居場所、健康増進、介護予防に

③企業の地域貢献への支援

見直しの方向性【新規１　改善１】（２つのグループが検討）

タイトル・キーワード	主な意見
市内主要企業へのコミュニティ活動参加促進	・市民活動支援センター登録資格を主要企業にも付与する、プランに賛同した企業誘致 ・地域貢献をする企業が宣伝や利益につながる仕組みが必要

④公共施設等の適切な維持管理

見直しの方向性【新規１　改善１】（２つのグループが検討）

タイトル・キーワード	主な意見
公共施設維持管理に市民参加を！	・市民に公共施設の重要性を再認識させ愛着を持たせる
公共施設を稼げるように、あるいは見直し、廃止・・・	・一定の企業活動に公共施設を開放して、市の収益につなげ、にぎわいの創出を ・スタートしている事業でも、必要がなくなれば廃止、その予算を別に回す勇気を持つ ・PFI の活用をし、みんなが使いたい魅力ある施設にする
岩倉団地リノベーション	・「車がなくてもいわくらしやすい」東小とセットでリノベーション！（駅東まで人が流れる）
様々な活用アイディア	・図書館とプラザをつなぎ、開放的にテラスなど整備 ・中央公園の有効活用：オフ日、イベント等まつりの時、大きい公園は駐車泊を OK に ・東小を特色ある学校に：多文化共生、子どもが主体で考える学校、岩倉市以外からも入学

『新規』持続可能なまちづくりの推進のためのアイディア

タイトル・キーワード	主な意見
６R を推進したテーマパーク	・4R＋2R（レンタル・リース、再雇用・新雇用）
農地を持続可能なものに	・農村崩壊前に家族農業の推進、有機農法で生態系保全
外国人との交流	・ポケトーク等を地域に導入
財政を考える	・自治体が稼ぐ力をつける ・生活保護費の岩倉のウェイトを下げ、場所、モノ、コミュニティの充実等
新しい安心安全の価値をつくる	・″パートナーシップ制度の導入、どんな人も安心して住めるように″

第５次岩倉市総合計画策定に関する第６回市民まちづくり会議　結果概要

日時　令和元年 12 月 14 日（土）午前９～12 時
会場　岩倉市役所　７階 大会議室

◆グループワーク

「岩倉の持続可能な未来にむけた公民連携プロジェクトの市民提案」の作成

「関心があり取り組んでみたいアイデア」を各自発表し、同じ目標を担当するグループ（２～４名）を作り、「公民連携プロジェクトの市民提案」を検討・作成しました。提案の作成に当たっては、第３～５回で出されたアイデアを踏まえ、総合計画（まちづくり戦略）に反映するとともに、次年度以降に民間主体でプロジェクトを進めていくことを目指し、検討しました。出されたグループの提案の概要を基本目標＋施策ごとに下表にまとめました。

基本目標１「仕事をつくり安心して働けるようにする」

施　策	プロジェクト名
４．優秀な労働力の持続的な確保	稼げるまち　いわくら

【目的・ねらい「５年後までに得たい成果・目指すゴール」】
「ひと」と「仕事」をマッチングし、今後起こるであろういろいろな課題に対応する
【概要】（主体は未定）
例えば老後の年金不安を持つ高齢者や、本業での収入だけでは住宅ローンが返せない人、岩倉市が雇用するスポーツや IT のスペシャリストに、今後起こるであろう様々な課題に対応する仕事をマッチングする。市民の細かな「困った」ニーズを補完したり、行政の施策に関連することに参加してもらったり、軌道にのれば他市町村からの仕事も視野に入れる。同時に地域コインを発行し、その仕事で発生する地域コインは市内事業者にお金が落ちるようにする。

基本目標２「新しい人の流れを作る」

施　策	プロジェクト名
１．若い世代の多様性・定住の促進	岩倉団地の再生・活性化

【目的・ねらい「５年後までに得たい成果・目指すゴール」】
岩倉団地を有効活用した若い世代の移住・定住の促進
【概要】　UR「空き家」　×　行政（市）　×　福祉・商業（民間）
交通アクセスや住環境には恵まれているのに、知名度が低く流入人口の少ない岩倉市へ、若い世代の定住を促進するために、岩倉団地の空き家を再生・活性化する。オフィスや住宅などテーマ別に棟を住み分け、団地内に複合機能を持たせる。若者世代・子育て世代への限定補助、団地内で起業する人への助言や補助、駅と団地をつなぐシャトルバスの整備など、ソフトハード両面で支援する。

施　策	プロジェクト名
１．若い世代の多様性・定住の促進	岩倉市若者議会

【目的・ねらい「５年後までに得たい成果・目指すゴール」】
　若者の意見をダイレクトに聴き、一部権限移譲して市政に積極的参加してもらうことで、若者の郷土愛を育成する
【概要】　行政（市）　×　「若者＋団体」　×　市内企業
　「岩倉市若者議会」開設にあたり、「若者条例」を制定し、プレ議会の開催⇒若者議員の募集⇒議会開催　と進める。若者議会の働きにより、地域の一体感を醸成し、ゆくゆくは新たな雇用創出へとつなげることが期待される。

施　策	プロジェクト名
２．観光交流の促進による 交流人口の拡大	親子で楽しめる農園パーク

【目的・ねらい「５年後までに得たい成果・目指すゴール」】
「岩倉を選んでもらい」、「少しでも長く住み続けてもらう」ために
【概要】　行政　×　起業家　×　農業ベンチャー
　拡大する遊休農地を活用し、岩倉市の個性ある教育の場や農業体験の場、市民の憩いと地域交流の場として、「親子で楽しめる農園パーク」を整備する。岩倉市南部地区の遊休農地において、地域の農家さんを講師としての農業体験、貸農園、BBQ,イベントスペースなど、2021 年４月スタートを目標とする。

基本目標３「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」

施　策	プロジェクト名
３.子育て支援 ４.特色ある教育の推進	放課後みんなくらぶ

【目的・ねらい「５年後までに得たい成果・目指すゴール」】
子どものこころざしを広げ、子どもの学力向上、世代間交流のできる「たまり場」
【概要】岩倉市　×　市民団体等　×　学習塾
　利用者が固定化している児童館を活用し、子どもの学力向上や多様な体験の場とする。児童館毎に特色を出すために、学習ボランティアや市民団体に活躍をお願いする。その結果多世代・多文化や町内の歴史・文化などへの理解を深めることも期待される。

基本目標４「時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守る」

施　策	プロジェクト名
１.健康寿命の延伸	お寺　de　サロン

【目的・ねらい「５年後までに得たい成果・目指すゴール」】
健康年齢を伸ばす、おじさんを引っ張り出せ、目指せ P.P.K（ピンピンコロリ）
【概要】　寺社仏閣　×　老人会・婦人会　×　市役所・生協
　各地区で月一回程度、歩ける距離の会場（寺社仏閣など地域内）において、「出前市役所（行政出張相談・手続き代行等）」、「健康食講座と試食」、「音楽等市民団体の発表」、「麻雀、将棋、カラオケ」等、男性高齢者でも参加しやすいメニューでサロンを開催し、行政サービスの徹底と仲間・健康・生きがい・元気づくりを応援する。

施　策	プロジェクト名
2.防災・防犯対策の充実	One　Iwakura（ワン イワクラ）

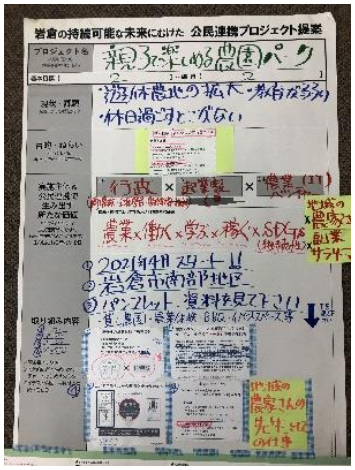
【目的・ねらい「５年後までに得たい成果・目指すゴール」】
平時から若者・女性・高齢者も安心して参加できる防災・減災のためのネットワークづくり
【概要】　市民　×　民間団体（NPO）　×　岩倉市役所・社会福祉協議会
現在の防災・防犯対策は若者の参加が少なく、女性の意見が反映されにくい。そこで、平時からの多世代のネットワークづくりを進め、知識・スキル・経験の蓄積により、市民の防災・防犯意識を高める。参加しやすい防災訓練や幼稚園・保育園での説明会開催、専門家を招いての避難所の見直しや防災講座の開催など、多種多彩な取り組みを行う。

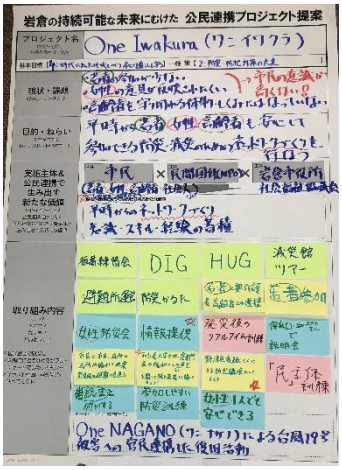
施　策	プロジェクト名
3.持続可能なまちづくりの推進	東地区のリノベーション

【目的・ねらい「５年後までに得たい成果・目指すゴール」】
老若男女！気楽に！遊んで！働いて！飲んで！食べて！しゃべって！家に帰る生活！！
【概要】地主（家主）・デザイナー（建築）　×　JA・金融機関　×　行政・やる気のある市民
ホシノタニ団地（神奈川県）をモデルに、岩倉団地をリノベーションし、保育所・カフェ・レストラン・高齢者サロン・小規模マルシェ・カラオケ・BBQ など、市民が集えるよう、多機能化する。また五条川周辺環境を最大限活用し、季節ごとのイベントやスポーツなどの受け皿とする。市民と行政が一体となって進めることにより空き家・空地対策や企業収益・イメージの向上につなげる。令和３年までに基本計画を作成し、令和 10 年までに一部完了を目指す。

施　策	プロジェクト名
3.持続可能なまちづくりの推進	公園よ、よみがえれ！

【目的・ねらい「５年後までに得たい成果・目指すゴール」】
人が集まる魅力とコンセプトのある公園の整備
【概要】　市役所　×　民間企業　×　農家（地主）公園利用世代
市内の老朽化した公園や遊具が無い公園、球技ができない公園など、さびれた公園を、人があつまる魅力ある公園へとよみがえらせる。利用者の年齢や利用目的などを想定したコンセプトを各公園に持たせる。（パークマネジメント）





◆「こんな活動やってみたい…公民連携まちづくり はじめの一歩宣言」

全６回にわたる「第 5 次岩倉市総合計画策定に関する市民まちづくり会議」の締めくくりとして、参加者それぞれに、今後自らできそうな「まちづくり宣言！こんなことできます、やりたい（自分に何ができるか？）」をカードに記入、発表してもらいました。

第６回で提案された公民連携プロジェクトの実現を望むとともに参加したいと言う人、もっと岩倉市について学び、「いわくらしやすさ」を内外に PR したいという人、また全６回の会議に参加することにより、岩倉市が進める施策について知り、参加協力の意思を持ったという人など、熱い「はじめの一歩宣言」が発表されました。

分野別に「はじめの一歩宣言」を下記にまとめました。

■交流人口の拡大

・農園事業にたずさわりたい。
・「農園パーク」と「東地区リノベーション」協力してできそうな人とのコミュニティーを増やしつつ、自分のスキルも高めたい。
・ミズベリングの活動から農園パークへ　岩倉市　人-物-金　農業×働く×学ぶ×稼ぐ×継続性
・スポーツ、音楽、食文化融合夏フェスの開催
・楽しそうなイベントには積極的に参加したい。

■地域活性化・産業振興

・コンパクトで暮らしやすい岩倉で地域の活性化に何かしら協力していきたい。
・「稼げるまちいわくら」プロジェクトの手伝い、立ち上げに必ず関わりたい。
・「稼げるまちいわくら」アイディア、事例 etc の情報収集、協力
・稼げるいわくらプロジェクトをお酒飲みながら考える。
・ワンストップ　ビジネスコーディネーターになる。

■岩倉市への理解促進と PR

・岩倉市の「地の利」を PR して行きたい。
・まずは友だちに岩倉自慢をどんどんする（岩倉のことを知ってもらう）。
・岩倉のことをもっと調べたい（歴史、地理、統計等）。
・岩倉の歴史をもっと知る。
・“こんなのあったらいいな”と思ったら、取組み事例を調べてみる（☆他の市町村のとりくみ、☆企業の企画）。

■市民活動・地域活動

・全市民団体の調和のための連絡会みたいなのを考える（もしかしたら岩倉市にはかせぐことは必要ないかも…市民活動団体がポイントだと思う）。
・市民団体活動に参加する‼つながり大事‼
・おじさんも参加したくなる活動
・定年後は、岩倉市の何らかの活動に関わって行きたい。
・地域の将来のため、次代の若い人々と一緒に考えていきたい。

■子育て・教育・多文化共生

・IT×（教育、移動）領域の社会課題を解決するプロジェクトに継続的に参画したい。
・子育て世代が楽しめる居場所づくり
・Diversity なLittle city　日本語＆教育支援の拡充

■防災・防犯

・防災、減災のためのネットワーク「One IWAKURA」（ワンイワクラ）をつくる‼
・防災・防犯について他地域事例を参考として、若者として、取り組んでいけるように、色々と調べてできることはやっていく。
・１人で避難しても安心できる環境について考える！

■桜並木保全

・桜並木保存について公民連携プロジェクトが出来れば参加したい。
・桜の植替えを進めたい。

■その他、まちづくり全般

・岩倉の将来の為、人口を増やしかせげる街にする為、遊休地・空家を利用し、結婚適齢期・子育て世代が住みたくなるよう、公民連携のお手つだいができればと思う。
・素晴らしいアイディアを持った市民の方々がいることを知った。一層の公民連携を進めたい。
・居住環境を改善できるようなまちづくり
・五条川を中心とした水辺創造イノベーション、国の「かわまちづくり助成金制度」を活用し「川の駅」構想の実現化！
・都市計画と社会基盤整備づくり
・気軽に、楽しく、遊んで、飲んで、岩倉の為になることをしたい。
・いいと感じたことをまずはやってみる。

市民まちづくり会議（市民ワークショップ）全６回のまとめ　～協働の飛躍のための市民と職員のプラットフォームづくり～

基本目標①　しごとをつくり、安心して働けるようにする

基本施策【評価点】	事業内容			市民提案「公民連携プロジェクト」
	事業名	主な問題点、課題	見直し提案	
１.中小企業・小規模事業者の振興支援 平均 3.3 点	①中小企業･小規模事業者活性化行動計画の推進	―	対象中小企業の分析、横のつながり強化、税の軽減で支援	◆第３回：公民連携プロジェクトアイデア ・岩倉版「stationf」 ・岩倉市として「やりたいこと」は何か ・野寄地区プロジェクト ・活動できる場を増やす ・サラリーマンファースト岩倉 ・空き家の再利用 ・サラリーマン活用＋稼ぐ視点 ◆第６回：市民提案「公民連携プロジェクト」 「稼げるまち　いわくら」 （関連施策：４．優秀な労働力の持続的な確保） 【概要】 例えば老後の年金不安を持つ高齢者や、本業での収入だけでは住宅ローンが返せない人、岩倉市が雇用するスポーツや IT のスペシャリストに、今後起こるであろう様々な課題に対応する仕事をマッチングする。市民の細かな「困った」ニーズを補完したり、行政の施策に関連することに参加してもらったり、軌道にのれば他市町村からの仕事も視野に入れる。同時に地域コインを発行し、その仕事で発生する地域コインは市内事業者にお金が落ちるようにする。
	②地域産業活性化支援事業（ビジネスサポートセンター事業）	コンサルティングの充実、農業視点からの産業化、商工会会員以外を含む活用促進、成果の見える化	ビジネスサポートセンターの利用率アップ、カリスマスタッフの雇用育成、企業の PR コスト支援	
	③経営発達支援計画の推進支援事業	事業内容が見直されていない	事業内容を分かりやすくし、市民活動支援センターの企業版を作る	
	④中小企業･小規模事業者従業員研修支援事業	岩倉市ならではの事業の継続	相談会・セミナーの実施効果を数字で確認、市職員向け研修の開放継続・発展、市民講師の登録・養成制度づくり	
	⑤販路開拓・拡大支援事業	単なる交流からの発展	企業コラボ支援、販路拡大方法の拡充、イベントによる認知度アップ	
	⑥小規模企業等振興資金融資事業	―	事業の意味がわかりやすいネーミング、市独自の融資制度創立	
	【新規】社会的課題解決事業への支援強化、既存企業支援サービスの活用促進			
２.創業支援・事業承継の支援 平均 4.0 点	①創業支援事業計画の推進	融資のみでなく、企業間の連携、市内外の連携も必要	コストの高い広告宣伝費の支援、創業後３年の税軽減 一旦廃止の上、全面リニューアルを検討	
	②地域産業活性化支援事業（ビジネスサポートセンター事業）	岩倉市と他市町との産業実態比較による対策検討などの施策が必要	空き家の活用や小規模でのシェアオフィス提供で支援 岩倉市に市場価値があってこその創業ではないか（事業廃止）	
	③事業承継促進事業	昔ながらの商店は残るが後継者問題や大規模店の競合の問題がある	「いわくらしやすい」ブランドの強化、テーマ・対象を絞った交流会開催、コーディネーターが必要	
	④創業資金融資利子補給補助事業	補助金は直接的な事業者支援となるが、利用が少ない。補助事業が周知されていない。	創業者の掘り起こし、事業の周知、創業後の支援にもつなげる	
	【新規】起業者教育、商工会と市役所の役割分担明確化、空き家活用との連携			
３.新たな企業の誘致 平均 7.5 点	①工業系土地開発事業	川井野寄地区以外の地域は減っているのでは	工業系にこだわらず、岩倉市の路線を考えてはどうか	
	②市内全域における企業立地及び企業誘致	進捗状況がわかりにくい	IT 特化、交通利便性 PR、テレワークとの組合せ、岩倉団地の一棟をシェアオフィス化	
	【新規】IT 企業の営業力支援、市と企業をつなぐ会社の活用、農園パーク、集いの場作り			
４.優秀な労働力の持続的な確保 平均 4.8 点	①岩倉ものづくりＦＯＣＵＳの作成及び活用事業	「FOCUS」の PR が不足	FOCUS の周知方法を多様化、広報に掲載（作成コスト削減策として）、学生による FOCUS 取材作成	
	②職場体験学習等の充実	中学生にとって良い事業であり、地元企業への就職につなげたい	職場体験の効果検証・改善、大人向けの職場体験教室、中学生の職場体験継続	
	③体系的なキャリア教育推進事業	―	体系的キャリア教育プログラム、高校生・大学生のインターンシップ制度、高齢者の知識を伝授する場を増やす	
	④就職フェア開催事業	開催があまり知られていない。また様々な場所で開催され、岩倉市がやる必要はないのでは	就職フェアのターゲットやテーマを絞る フェア開催の見直し	
	⑤女性のための仕事支援	―	子育て後の働きたい女性と企業のマッチングサイト開設、女性向けの支援の見直し（起業支援だけでなく求人とのマッチング）	
	【新規】職場体験よりも起業・創業体験、マネーライフプラン体験			

基本目標②　新しい人の流れを作る

基本施策【評価点】	事業内容 事業名	主な問題点、課題	見直し提案	市民提案「公民連携プロジェクト」
1.若い世代の移住・定住の促進 平均5.0点	①若い世代を中心としたシティプロモーション戦略の推進	「いわくらしやすい」が分かりやすくイメージアップできていると思うが、市内外への周知が不足。若い世代にどれくらい浸透しているのかわからない。	「いわくらしやすい」を多用し認知度をあげる、市内企業や大学とのコラボ、税金、教育、医療など岩倉ならではの特典	◆第３回：公民連携プロジェクトアイデア ・住みやすさ重視 ・団地地区再開発プロジェクト ・遊休農地の活用「家族農園」 ・岩倉駅徒歩10分圏内の開発 ・学びの場五条川 ・岩倉の昔からあるお店をもっとPR ・駅東に人を！ ・もっと「まずは」岩倉を知ってもらう ・親子で楽しめる好楽農園パーク ・市民を増やす！ ・歴史を取り入れた価値のあるエリアづくり ◆第６回：市民提案「公民連携プロジェクト」 ①「岩倉団地の再生・活性化」 （関連施策：１．若い世代の多様性・定住の促進） 【概要】UR「空き家」×行政(市)×福祉・商業(民間) 交通アクセスや住環境には恵まれているのに、知名度が低く流入人口の少ない岩倉市へ、若い世代の定住を促進するために、岩倉団地の空き家を再生・活性化する。オフィスや住宅などテーマ別に棟を住み分け、団地内に複合機能を持たせる。若者世代・子育て世代への限定補助、団地内で起業する人への助言や補助、駅と団地をつなぐシャトルバスの整備など、ソフトハード両面で支援する。 ②「岩倉市若者議会」 （関連施策：１．若い世代の多様性・定住の促進） 【概要】行政（市）×「若者＋団体」×市内企業 「岩倉市若者議会」開設にあたり、「若者条例」を制定し、プレ議会の開催⇒若者議員の募集⇒議会開催と進める。若者議会の働きにより、地域の一体感を醸成し、ゆくゆくは新たな雇用創出へとつなげることが期待される。 ③「親子で楽しめる農園パーク」 （関連施策：２．観光交流の促進による交流人口の拡大） 【概要】行政×起業家×農業ベンチャー 拡大する遊休農地を活用し、岩倉市の個性ある教育の場や農業体験の場、市民の憩いと地域交流の場として、「親子で楽しめる農園パーク」を整備する。岩倉市南部地区の遊休農地において、地域の農家さんを講師としての農業体験、貸農園、BBQ,イベントスペースなど2021年４月スタートを目標とする。
	②ホームページ等を活用した情報発信	ホームページやSNSの取組、スマホ対応で市外の人にも分かりやすくなったが認知度が低いか。情報更新が遅い。	LINE等SNSの更なる活用、見やすく専門用語を減らすなどホームページの改善、市民作成の「いわくらペディア」「いわくら辞典」 新しく作るのではなく既存のサービスを探す	
	③空き家等利活用推進事業	空き家バンクはできたが利用件数が少なく、空き家は増加している。PR不足か。	「大学生・専門学校生」や「集客力のある店舗」などターゲットを定めて空き家活用方法を拡大、税の優遇・賃借ルール作成・近居支援事業とのリンクなど空き家バンクの制度改善、家を手放したくなる仕組みづくり	
	④三世代同居・近居支援	金銭的支援のみなのか、三世代の意義を明らかにすべき。	同居希望は少なく、施策対象を近居にしぼる、PR方法の見直し、空き家バンクとの連携	
	【新規】小中学校での学びのスキルアップをはかり、文教地区としてのイメージアップ。家族で過ごせる場の創出や交通手段の確保により居住環境を改善する			
2.観光交流の促進による交流人口の拡大 平均5.0点	①五条川の桜並木の保全	桜の植替えができない、行政・桜並木保全会・市民の協働が不十分	桜の植替えをなんとしても実現したい、桜と川の一体管理活用、花の多様化を	
	②桜まつり事業	桜まつりの認知度は増したが、中心部に偏りがある、観光客の動線が悪い、イベントができる団体の固定化が見られる	五条川だけでなく岩倉市全体に展開、桜祭りの収益力アップ	
	③観光振興事業	桜以外の観光資源が不足、い～わくんの市外認知度が低い	「桜の岩倉」から「花の岩倉」へ　年間を通じて花を楽しめるように、こいのぼり、名古屋コーチンなど桜以外の観光資源を。い～わくんをPRの活用する、観光支援ハードソフト充実	
	④ふるさといわくら応援寄附金事業	20業者70品目と多様だが、市内外へのPRが不足（名古屋コーチンがあまり知られていない）	返礼品の見直し・拡充や、多様な場面でのPRなどふるさと納税の改善、ファンクラブ「心の岩倉市民」の創設	
	【新規】五条川下流域の活用、五条川カード発行、秋季に彼岸花を川岸に、桜以外の観光資源として工場見学などの産業観光事業推進、大野市との観光連携、電車だけではなく、日帰りで各地と行き来できる飛行機の便利さをPR			

基本目標③　若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

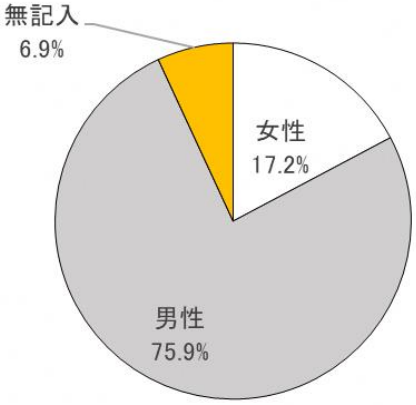
基本施策【評価点】	事業内容			市民提案「公民連携プロジェクト」
	事業名	主な問題点、課題	見直し提案	
1.若者・女性の就労支援 平均 4.1 点	①就職フェア開催事業	フェアに市内企業出展が少ない、年齢制限があり、対象層が限られる	市内の仕事に関わらず、市外の仕事も紹介、在宅（SOHO）仕事フェアなど対象を明確に開催	◆第３回：公民連携プロジェクトアイデア ・学習補助事業 「公一施設、民一運営」地域の人的資源も活用しながら学力の底上げを図る。外国人等住民も対象にする ◆第６回：市民提案「公民連携プロジェクト」 「放課後みんなくらぶ」 （関連施策： ３.子育て支援、４.特色ある教育の推進） 【概要】 岩倉市　×　市民団体等　×　学習塾 利用者が固定化している児童館を活用し、子どもの学力向上や多様な体験の場とする。児童館毎に特色を出すために、学習ボランティアや市民団体に活躍をお願いする。その結果多世代・多文化や町内の歴史・文化などへの理解を深めることも期待される。
	②女性のための仕事支援	創業塾を広めたい、市内に女性向けの仕事が増えない、子育てとの両立サポートが必要	就職前後いつでも相談、ネガティブワードによる職業案内、成功体験で PR	
	【新規】岩倉に帰って働こう！プロモーション（お盆や正月など帰省の時期に広報などで周知）、きれいなシェアオフィスで仕事しよう			
2.結婚・出産支援 平均 5.1 点	①婚活支援事業	単発イベントで終わっていないか、若者が集い、出会う場がない	「婚活」を前面に出さない、対象や内容を多様にする 婚活支援は市がやらなくても良い（縮小廃止）	
	②28 歳の集い	年齢を特定する必要はないのではないか、あつまる目的が明確ではない	28 歳にしぼらず対象年齢を広げ、各世代のつながりの場に国の補助金が出るのであれば継続	
	③不妊治療助成事業	—	対象年齢を引き上げるなど助成を拡大し継続するとともに、夫婦、さらには男性向けや親世代を対象に理解を深める場を持つ	
	④母親教室など各種母子保健指導教室事業	成長に応じて支援してもらえるのが良い。	ニーズを取り入れて継続・発展、情報発信方法の改善、父親や高齢者も対象に広げ家族みんなで子育て	
	⑤保健師・助産師による妊娠期から子育て期の切れ目ない相談支援事業	出産には不安がつきまとい、集まりの場や定期的な支援が大切	「おいでん初心者ママ」子育て中のママパパがいつでも、誰でも悩み相談できるカフェなどを多世代で開催できると良い	
	【新規】親になる前に結婚・子育て教室、里親制度の周知と提案助成、ファイナンシャルプラン教室（結婚・出産までのお金の流れを学ぶ）			
3.子育て支援 平均 6.6 点	①認定こども園等運営補助事業	室外で安心して活動できるスペースがある	病児保育の充実、学校内や介護施設内で多世代交流、短時間勤務受入れや多言語対応等、保育士の充実	
	②保育園送迎ステーション運営事業	充実しているが、偏っていないか、現場への負担が大きくないか、高額で使用しづらいのでは	駅利用は便利だが、親と保育園の交流を深める工夫が必要	
	③放課後子ども総合プランの推進	児童館がよく活用されている	放課後児童クラブの充実、児童館・公民館の活用	
	④子ども医療費支給事業	中３まで対象となりありがたい	薬に頼りすぎるリスクもきちんと伝える	
	⑤第３子以降学校給食費無償化事業	—	今後も継続を希望	
	⑥幼児２人同乗用自転車購入補助事業	どれだけのニーズがあるか不明	需要を調べ、なければ他の事業に予算を回す	
	⑦三世代同居・近居支援事業	金額の少なさに驚いた	他の事業に回しては	
	⑧石仏公園整備事業	—	スポーツ等のテーマで整備、テナントを設置し維持費を稼ぐ	
	【新規】ファミサポをもっとアピール、支援者リストを作るなど、せっかくの制度の充実と PR を！			
4.特色ある教育の推進 平均 5.0 点	①教育振興基本計画の推進	現場は苦労している	外国人の子どもの教育支援状態把握が必要、公民共有の集いの場を設ける、総合的ではなく、市としてポイントを絞って推進	
	②魅力ある学びづくり支援事業	他市とどう違うのかがわからない、IT 教育等、夢を感じる授業があると良い	内容がわかりにくいため、具体的な施策を、AET を各校に一人常駐、山車の見学を全学校で実施、大人向け教室も実施	
	③食育推進事業	食育の取組は良いと思う、セレクト給食は良いが通常の給食の評価が低い	子ども向けの継続と発展、食べるだけでなく作ることをイベントで、学校に田んぼ・畑など地産地消、生産も学ぶ、親向けの食育指導	
	【新規】IT・スポーツ等の専門職、あこがれの選手と体力づくり、岩倉市立国際東小学校（小学校区をなくし、グローバルを売りにしてい～わくん号で送迎するなど）、文化の継承者を育てる、放課後のまなびの場をつくる、ライフプラン教育の充実			

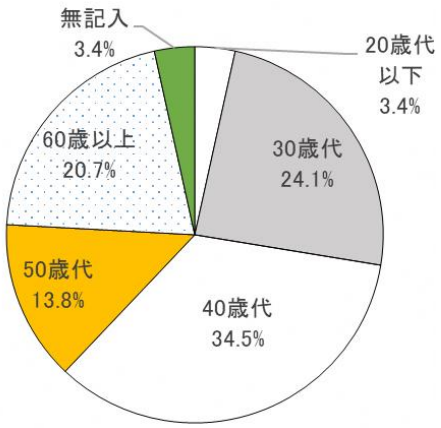
基本目標④　時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守る

基本施策【評価点】	事業内容 事業名	主な問題点、課題	見直し提案	市民提案「公民連携プロジェクト」
1.健康寿命の延伸 平均 5.2 点	①地域保健活動推進事業	五条川両岸のコース沿いにみんなが使いやすい施設を	高齢者の外出促進、健幸のための各種教室・65 歳以上対象料理教室開催、市内企業との連携、健康マイレージをプレミアム商品券に	◆第３回：公民連携プロジェクトアイデア ・学校と公共施設の民間委託 ・くるくるバス ・車がなくても「岩倉しやすい」 ・公園、公共施設、空き家の活用・再利用 ・農福マルシェ ・空地と空き家の有効活用を進める ・行動したい人のための体制づくり ・公民連携で駅前エリアビジョン作成 ・多国籍のまちづくり ・遊休農地・高齢者化を見据えた「テーマパーク」 ◆第６回：市民提案「公民連携プロジェクト」 「お寺　de　サロン」 （関連施策：１.健康寿命の延伸） 【概要】寺社仏閣×老人会・婦人会×市役所・生協 各地区で月一回程度、歩ける距離の会場（寺社仏閣など地域内）において、「出前市役所（行政出張相談・手続き代行等）」、「健康食講座と試食」、「音楽等市民団体の発表」、「麻雀、将棋、カラオケ」等、男性高齢者でも参加しやすいメニューでサロンを開催し、行政サービスの徹底と仲間・健康・生きがい・元気づくりを応援する。 「One　Iwakura（ワン イワクラ）」 （関連施策：２.防災・防犯対策の充実） 【概要】市民×民間団体(NPO)×市役所・社会福祉協議会 現在の防災・防犯対策は若者の参加が少なく、女性の意見が反映されにくい。そこで、平時からの多世代のネットワークづくりを進め、知識・スキル・経験の蓄積により、市民の防災・防犯意識を高める。参加しやすい防災訓練や幼稚園・保育園での説明会開催、専門家を招いての避難所の見直しや防災講座の開催など、多種多彩な取り組みを行う。 「東地区のリノベーション」 （関連施策：３.持続可能なまちづくりの推進） 【概要】地主家主・建築デザイナー×JA・金融機関×行政・やる気のある市民 ホシノタニ団地（神奈川県）をモデルに、岩倉団地をリノベーションし、保育所・カフェ・レストラン・高齢者サロン・小規模マルシェ・カラオケ・BBQ など、市民が集えるよう、多機能化する。また五条川周辺環境を最大限活用し、季節ごとのイベントやスポーツなどの受け皿とする。市民と行政が一体となって進めることにより空き家・空地対策や企業収益・イメージの向上につなげる。令和３年までに基本計画を作成し、令和 10 年までに一部完了を目指す。 「公園よ、よみがえれ！」 （関連施策：３.持続可能なまちづくりの推進） 【概要】市×企業×農家(地主)公園利用世代 市内の老朽化した公園や遊具が無い公園、球技ができない公園など、さびれた公園を、人があつまる魅力ある公園へとよみがえらせる。利用者の年齢や利用目的などを想定したコンセプトを各公園に持たせる。(パークマネジメント)
	②トレーニング室を活用した運動プログラムの作成	―	トレーニング室の器具の改善、広い場所への移動、トレーニング室に「女性専用プログラム（時間）」を作る	
	③健康づくり事業	場の提供や健幸都市宣言の周知不足	五条川健幸ロードプロジェクト、健康マイレージ事業の発展（スマホとの連携）、食育教室の推進、い～わくんと一緒に学ぶ０からの健康教室、MY 健康カード（施設の利用許可証とトレーニング記録）岩倉市民プールの設置	
	④人間ドック費用助成事業	市内医療機関に限定されている、総合病院がない	人間ドックの市内限定解除、人間ドックツアー（一人では利用しにくい人に）	
	⑤地域包括支援センター設置事業	認知症の人や高齢者へのサポート体制の不足	センターに親しみやすい愛称を、地域包括ケアの拡大、出張支援	
	⑥スポーツの普及振興事業	参加者数、広がり、男女差、地域間格差など定量的な評価ができるか	マラソン大会の拡大、多様化、五条川マラソンの復活、大野マラソンツアーの開催、スポーツができる場を身近に	
	【新規】気軽に集まれる場づくり（空き家活用）ミニ・トレーニングサロン、駅前商店街ウォーキング大会			
2.防災・防犯対策の充実 平均 4.1 点	①地域防災力強化推進事業	防災訓練に参加する若者が少ない	防災・減災をテーマとした多様なワークショップの継続的開催、DIG の継続的開催、各防災会の防災会長の設置、名古屋大学減災館視察ツアー開催、防災かるたの全児童への実施	
	②防災対策推進事業	五条川両岸に入る防災道路確保	避難所の環境について見直し・改善、防災訓練の多様化、防災食アレンジ教室・コンテスト開催	
	③地下貯留施設等整備事業	五条川の度々のｵｰﾊﾞｰﾌﾛｰ	地下貯留施設増強推進、貯留施設見学ツアー	
	④LED 防犯灯設置事業	場所の追加や運用状況確認	要望があるところに引き続き設置	
	⑤安全安心カメラ設置事業	場所の追加や運用状況確認	要望があるところに引き続き設置	
	【新規】SNS 講座等、女性のための防犯教室、高齢者単身世帯の巡回（週２回程度）			
3.持続可能なまちづくりの推進 平均 5.0 点	①協働のまちづくり推進事業	市民活動支援・参加機会が拡大しているがまだまだ参加者が少ない、わかりやすさ、楽しさが必要	活動団体に参加しやすい仕組みづくり、小学校単位の地域福祉計画の推進、市内文化資産管理に市民活動団体活用を、町内会による防災対策（家屋）推進	
	②地域コミュニティの強化	民生委員の過重負担感、広報・SNS に加えてもう一手の発信方法を	公式 LINE 整備（情報の整理）、行政区制度（現行）改善、五条川のような快適に歩ける道を東西南北に、サロン活動の全区への展開	
	③企業の地域貢献への支援	―	市内主要企業へのコミュニティ活動参加促進	
	④公共施設等の適切な維持管理	施設の適正設置、維持管理、公共施設の維持	市民参加による公共施設維持管理、公共施設を稼げるように、岩倉団地リノベーション、 スタートしている事業でも、必要がなくなれば廃止、その予算を別に回す勇気を持つ	
	【新規】６R を推進したテーマパーク、農地を持続可能なものに、外国人との交流、財政を考える、新しい安心安全の価値をつくる			

◆第６回　参加者アンケートのまとめ

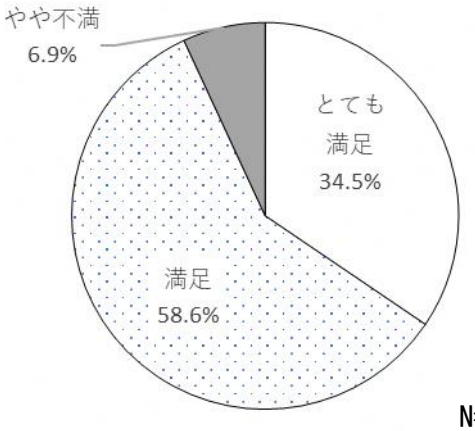
会議終了後、参加者のみなさんに、「市民まちづくり会議」についてアンケートへの協力をお願いしました。回答して下さった 29 名のうち、「女性」は 17.2%、「男性」は 75.9%、年齢は、「40 歳代」が 34.5%と最も多く、「30 歳代」が 24.1%、「60 歳以上」が 20.7%、「50 歳代」が 13.8%と続きます。「20 歳代以下」は 3.4%（１名）でした。





問１．「第６回市民まちづくり会議」の 満足度

「満足」が 58.6%と最も多く、「とても満足」の 34.5%を合わせると、93.1%が満足と答えています。「やや不満」は 6.9%（2 人）で「不満」はいませんでした。



N=29

【とても満足・満足の理由】(17 件の具体的記入より抜粋)

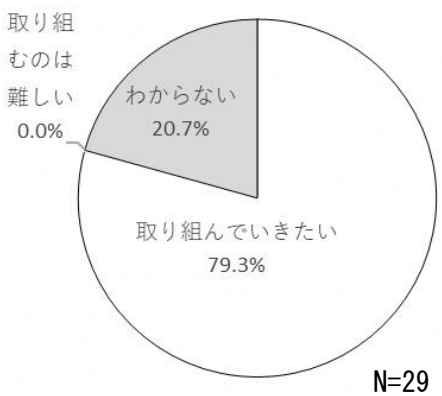
・岩倉市のことを知ることができた。
・岩倉市の街づくり活動に参加できて良かった。
・新鮮・奇抜なプロジェクト提案を見て大いに刺激を受けた。
・様々な発表が聞けて楽しかった。
・時間が足らなかった、もっと深堀したかった。
・発言機会も多く、多分皆さんも伝えたい事が自由に言えたと思う。
・まとめる時間が足りなかったと思う。
・公民連携にこだわりすぎだと思う。大切なこと・本質を見失ってしまわないか心配
・色々な目線・立場での考えやアイデア、想いに触れることができました。
・事務局がしっかりと進め方を練ってくださり、当日もファシリテートしてくださったおかげで安心・安全な場で良い対話ができました。

【やや不満の理由】（２件の具体的記入）

・時間が足りない。
・燃焼不充分な印象。公民連携の事例について、国内外含めてインプットしてはどうか。

問２．第６回で提案された「公民連携プロジェクト」に今後も何らかの形で自主的に取り組んでいきたいと思いますか。

「取り組んでいきたい」が 79.3%と最も多く、「わからない」が 20.7%と続きます。「取り組むのが難しい」と答える人はいませんでした。



N=29

【取り組んでいきたい理由】(14 件の具体的記入より抜粋)

・今後も市の活性化に努めて行きたい。
・自分が住む街・働く街のことなので、少しでも力になれるならば全力で応援する。
・岩倉市を良くしたい。
・今後も継続したい。
・できる範囲で参加したい。
・社会課題を解決するプロジェクトに企業の外でも関

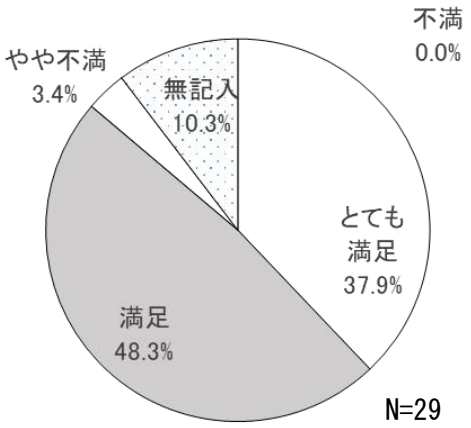
わりたいから。
・ミズベリングを発展させて農園パークにつなげたい。
・若者として色々な取り組みをしていく。
・自分が住んでいて楽しい、生活の場として選んでよかったと思えるまちで暮らし続けたいから。

【わからない理由】（４件の具体的記入）
・時と場合による。
・年齢的に参加は難しいと思うが、役には立ちたい。
・自分にできる事なら参加したい。
・日程的に出きそうならやってみたい。

問３．「市民まちづくり会議」全６回の 満足度

「満足」が48.3%と最も多く、「とても満足」が37.9%と続き、合わせると回答者の 86.2%が「市民まちづくり会議」について満足と答えています。

「やや不満」は 3.4%（１名）、「不満」はいませんでした。また「やや不満」の理由は「もっと継続したかった」とのことでした。



【とても満足・満足の理由】(13 件の具体的記入より抜粋)
・市を変えたい、良くしたいという熱意のある方との会話や検討ができたこと。
・公民連携プロジェクトを進める難しさを理解できた
・回数があと２回程ほしかった。
・若者として意見を出せた。
・若い人達とのコミュニケーションを通じ、思考力醸成に役立った。
・市の活動に参加し、いい経験になった。
・色々な提案・意見が聞くことができて、勉強になった。
・時間が少し少ない。より具体的に施策に落とし込む時間がもう１つあってもよかったかも。
・期間が短くじっくり向き合えない部分を否めない。月１回で１～２年かけてもよかったのではないか。そしてその結果が計画策定の一助となったとき、会議に参加して満足となると思う。

【やや不満の理由】（１件）
・もう少しやりたかったかも。

問４．今後の総合計画策定や推進に向けて、ご意見やご提案など

８件の具体的記入がありました。
・岩倉市の目指す方向を絞り明確にする。
・今回のような、場所を決めて人を集める検討に加えて、Office365＋Teams（キャット）のような低コストツールを活用した企画検討のプロジェクトなどがあっても良いのではないか。
・まず関心を持ち、機会があれば提言して行きたい。
・方向を決め、いかに参考、実行できるかと思います。
・これからどうなっていくか、公表を待っている。
・商工振興こそ、街の柱だと思う。かせげる街・かせぐ行政になれば岩倉はオンリーワンの街になると確信している。
・実現可能な計画と優位性を判断することは中々大変だと思う。
・途中経過を教えてほしい。また機会があったら参加したいです。
・最終的なアウトプットの意識が強いからか、もっと自由に議論できる場が、小さくおさまってしまった気がする。